# 問21(自由回答)への記載内容(全384件)

# 1 男女共同参画と男女平等に関して(175件)

まだ、会社、地域においても、決定権など主導権をもっている人々考え方が、男女共同参画には、消極的ではないだろうか。

子育て・介護においても、まだまだ昭和の男性的考えが定着しているように思う。

まずは、女性に限らず、男性おもに年配の方々に啓発していく事の方が、女性が社会にもっと関わっていくために必要なことではないだろうか。(40代 女性)

女性も男性もお互いに理解し合い、尊重し合うことが大切だと思う。(50代 男性)

田舎では兼業の家庭も多く、よほど体力的に自信があるか、家庭の理解がないと女性が働きにくいと思っています。

どうしても、男性・女性として見る意識は強いと思います。子どものことは母親がするという意識も 根強いと思います。女性の負担は大きいです。(40代 女性)

せっかく学校で習った現代的な考え方が、田舎に行くほど(市内でも旧市内以外)昔のままで、いまだにおらの村は、おらの法律で長年やってきたというのが多すぎて失望する。(50代 男性)

男女共同参画社会は、一朝一夕でできるものではないので、無理矢理押しつけるのではなく、個々の意識改革向上、行政・地域等の理解協力がなければ実現しません。

大きな事は出来ませんが、自分ができることから始めたいと思います。(50代 女性)

男女共同参画という言葉は聞いたことがあっても、鳥取で条例として制定されたことをこのアンケートで知りました。

性差別というと、厳しい言葉に聞こえますが、現実には、男性しか出来ない、女性ならではの業務・ 役割があるので、内容・必要性について知ることが、大切だと思います。(40代 女性)

男・女というくくりではなく、それぞれが一個人として、自分の能力やスキルを発揮できるような働きかけを常に行っていく必要がある。

また、周りも、性別にとらわれた見方をするのではなく、それぞれを個人として受けとめる必要があると考える。 $(40 \, \text{代} \, \text{男性})$ 

男女共同参画にあまり興味がありません。

積極的に出たい方、家庭の仕事が好きな方、色々ありますので、そんなに力を入れる必要がないと思います。(60代 女性)

男性はこうあるべき、女性はこうあるべきといった型にはまったものの考え方を取り除くようになれば少しは…。(50代 男性)

昔の教育を受けた高齢者には羨ましいような世の中になりました。能力のある人は頑張ってほしいです。(70代 女性)

日々の生活に余裕が必要だと思います。時間的にも、経済的にも、もう少し余裕をもてれば男女共同参画について考えることも可能になるのではと思います。

また、結婚においても、未だに長男だとか長女とかにより姓を選ぶことができず、違和感を覚えます。 意識改革が大切だと思います。(30代 女性)

お互いの友愛があればいいのでは。(50代 女性)

男女平等といっぺんに括るのではなく、その人の能力に応じた生き方が尊重できるような社会にしていきたい。

男だから、女だからではなく、家事に向いている人、仕事に向いている人、それぞれのサポートが出来ればいいと思います。(30代 男性)

問2 [男女が平等な立場で協力しあっていくためには] に書いてあるようなことが、当たり前の事として行われる社会であればそれで良いと思いますが、その一方で、結婚をしない女性、出産をしない女性がますます多くなって少子化が進んでいくのではないかと心配です。(50代 女性)

男女とも、能力を育成することも大切ですが、能力がプライドにならないよう!!先ず人間として一番大切な事を忘れない人間づくりと…先ず、相手を思いやる心を人間として育ててほしい!

### (50代 女性)

男性は小さい時から「男の子だから…」と言われ育ってきていると、女性より上位優位に立つのが当たり前と思わされてしまうようだ。結婚し、子どもが出来ても、子育て、特におむつ替えや洗濯、食事の用意などはしようとしないし、親と同居すれば「男がそんなことしなくてよい」としかられる場面を経て自分は男だから、そんなことはしなくて良いと思うようになる。

給料が妻の方が良かったりすると、夫から嫌みを言われたりする。

お互い信頼し、できることをできる時にできるものがやればよいと考えるが、それをはばんでいるものが、小さい頃からの刷り込みによる男女差別、ジェンダーなのではないか。

話し合って解決しようとするが、話し合いにも乗らない現状です。

次の子ども世代に期待しようと思ったが、子どもも家庭生活の中で同じように育っている。地域コミュニティーあたりから変革していく必要があると考える。(50代 女性)

男性がとか女性がと、声高く言うのではなく、男性しか出来ないこと、女性しか出来ないことをよく 自覚していく事が大切!

世の中、男と女しかいないのだから、人間としての男性への思いやり、女性への思いやりが欠けている。(60代 女性)

家庭内でのコミュニケーションが必要だと思う。

以前に比べて男性の理解もあり、女性も自分の能力を発揮する機会が多くなったように思う。

#### (80代 女性)

多くの資格取得においては男性の方が圧倒的に多く、それが男性優位の会社での立場・地位を生んでいると思われる。資格取得の試験、研修人員を同人数まで引き上げていき、当然合格者人数も男女同人数に近づいて行くに違いない。そうすることによって、女性幹部も増えていき、評判を呼んで女性社員も増えていき、男女同数まで引き上げ、家事、子育て、介護等、男女がお互いに相手を思いやり、協力して事に当たるよう、小さい時から学校教育、家庭で子どもに躾ける。(50代 男性)

私は 50 代前半の女性ですが、私たちの年代の男性は、時代の流れについていけてないと思う。かといって、学校で子ども達が、男子も女子も同じ…と教えられ、家での手伝いを娘に頼むと、弟にも同じ事をさせてと口答えし、やりにくい。男女は身体の作りも違うし、すべて平等とはいかないと思う。(50 代 女性)

私のまわりには、男女関係なくいきいき前向きに社会参加をなさっている方が多くいらっしゃいます。小さな事でも自分にできることがあれば、男女関係なく社会にでてお手伝いすることが健康上よいことだと思っています。

男女がともにお互いの役割を大切に考えるような教育、道徳教育が必要だと強く思います。お互いを 尊重しあうことが、すべてのことに通じる道と考えます。男女共同参画の本当の姿から外れないよう に願っています。日本文化の良いところは残すべきだと思っています。(60代 女性)

男性は女性を尊重する意識を高める。女性はもっと積極的に、男性の分野と思われているところにも 参画すること。男女とも平等であるという認識を持つこと。

女性も能力向上をはかり、男性に尊敬されるような知識経験を身につけること。(70代 男性)

結局どんなことをしても、男女平等はありえないと思う。

特に嫁になれば夫や義父母のいいなりにならざるを得ない。思ったことをできるのは、独身の時だけだと思う。(30代 女性)

男女で能力に差があるのは事実だと思う。どちらかが劣っているとか優れているという意味ではなく、得意、不得意の傾向がある。身体や脳の構造が違う以上、それはどうしようもない事なので、お互いに尊重し補いあっていけたらいいのではないか?

しかし結局は「個」だと思う。男であろうが女であろうが、人間は一人一人違うのだから、それぞれが自分らしく生きられる社会になればいいと思う。(20代 女性)

何よりも自分に自信を持つことが必要。(20代 男性)

男性と女性すべてが平等ということはなく、"らしさ"を大切にしながら助け合い、生活していくということだと思う。

何もかもが同じと勘違いしてはいけないと思う。(50代 女性)

男女は平等であることは当然であるが、性差の特性は遺憾なりともいたしがたい。

お互いに、性差を充分に理解し尊重し合い、そして大人と子どもも個々の人格を認め合える社会にならなければ、いつまでも「男女共同参画意識」の推進を続けなければならない。(70代 男性)

昔から言われる男らしさ、女らしさを考え、人間らしさ、人であることを男女平等ということで感じ 生活している。(50代 男性)

男女共同参画社会推進実現を目指すことに異論はありませんが、男女の責任感や特長及び文化否定にならぬよう希望します。

また、最近のある種の思想 (フェミニスト) 等への助長にならぬよう配慮してほしいものです。 (60代 男性)

社会で、学校で…あらゆる場面で、男女がいきいきと共生していくためにも、男女間での相互理解、助け合いが大切かと思います。

大人になってから、大人社会でのことと考え捉える前に、家庭からも親子、男女の協力や意識向上など、日頃の生活の中で少しずつでも男女共同ということをきちんと理解し、実践し、意識していくことも必要なのでは…と思ったりします。

男女として以前に、一人間として存在することの意味を考え、男女の共同参画の社会実現を大いに期待するものです。(40代 女性)

「男が上の立場」の考え方がまだ根付いている。女もいなければ、生活が成り立たない意識を(男も女も平等であり、尊重すべき)男性に持ってもらいたい。(40代 女性)

身体的にやはり男性に向いている仕事というものはある。全てに平等という考え方には抵抗がある。 しかし、家庭内で男性が女性に当然のように家事の負担を求めるのにも抵抗がある。

男性の意識改革が進んでいないのか、私の認識が甘いのかどちらなのか、自分でもよくわからない。 (30代 女性)

世代の交代とともに確実に前進していくよう、急がず怠らず、意識と仕組みを変えていき、良い社会を築いていけたらと願っています。(60代 男性)

社会生活の中で、肉体的にも能力的にも違いがあるので、その辺の役割は持った方がよい。 (70代 男性)

一人一人の人間として、尊敬、思いやりの心を持つことによって、個性と能力を発揮し、その人の個性が伸ばしていけるのではないでしょうか。(60代 男性)

「男女平等」とよく言いますが、体力的、性別的に女性は不利な事が多いと思います。

「男女共同参画」であれば、男女ともに受け入れやすいのではないでしょうか。

早くそういう社会になることを望みます。(50代 女性)

鳥取県は良い方と思います。役職員は少ないかもしれませんが。(60代 男性)

男と女である前に、夫と妻である前に、上司と部下である前に、常に一人の人間同士として尊重しあい、高め合おうとすることが、大切なのかと思います。(40代 女性)

元々、男女の間には、能力、体力、個性など違いがあるもので、男女不平等だとはあまり日頃感じていない。

お互いが、男と女では元々が違うものだから、それを受け入れ認め合えば、様々なトラブルも起きないと思うし、それぞれの能力が発揮できるのではないかと思う。(30代 女性)

何事においても、男性も女性も同権という考えを持つと言うこと。(40代 男性)

男性(特に高齢者 50 才以上くらい)が女性の意見を聞くこと。女性も積極的に目を向けること。 (30代 女性)

私自身は、価値的に男女のどちらかが優れているとは考えたことはありません。

もちろん、生物の個体としては様々な区別があるが、それに対して価値の軽重をつけない社会にするには、何と言っても、学校・家庭の教育が第一に重要だと考えます。(50代 男性)

男だから、女だからという視点からでなく、家族や社会の中で、今自分が一番しなくてはならないこと、したほうが良いことは何かを考えながら、その都度、役割分担をしていく方が、自然だと思う。女でも、社会の中で、立派に働いている人もいるし、また、家庭の中で立派に働いている人もいる。その人個人の考えで、それを認めてあげることが、一番大切なんだと思う。(50代 女性)

小中学生の頃の教育が重要だと思います。私の年代だと、男性優位で育てられた感がありますので、 意識改革をしていくには時間がかかり、無理矢理男女平等などとうわべだけで周りに合わそうとして いる感じがあります。

男性と女性は、肉体的に違いがありますので、必ずしも平等とは難しいと思います。平等とは何か、 男女共同参画の「平等」とは何か、教育が重要かと。(40代 男性)

男、女でひと括りにしないで、男女平等の上にそれぞれ個性を重要視し、人間らしく生活できる社会を望みます。(60代 女性)

お互いの信頼関係からなる、個々の尊重性を長期計画により進めていく努力。(50代 男性)

男性と女性は個性、能力、体力が違う。お互いに協力しあえば良いと思います。

それなのに、最近は、男女平等と言い過ぎ。子どもの教育にしても、学校のせいにし過ぎ。

私は朝早くから夜まで働いていますが、家事をするのはやはり中心は女だと思います。

男女共同参画は、何がしたいのか。必要なものなのか。税金を無駄にするな。(40代 女性)

数百年間続いてきた、日本の家長制度が終わりに久しい。しかしまだまだ、男尊女卑の傾向は根強い。 しかし「男女共同参画」が進められ、女性の立場も高くなったと思われる。職種に関しても、垣根が 取り払われた。保育士、看護師に、男性がなっていることも社会的地位を上げた一つの要因であると 思われるが(学歴や協会などの努力もある。)そのこともやはり、男女差別を感じる。

こういう企画を考える役所の上司に、言うこととする事の違いを感じるのは、私だけだろうか。

最近の若い世代については、差別感はないように思われる。やはり、教育の成果だと思う。

男女の肉体的、精神的な性質を考え、互いを尊重した対応を行い、何でも平等、同じでなく、尊重しつつ、真の人間として平等な社会を目指してほしい。(50代 女性)

実力があれば、女性がリーダーになる。男女対等に扱う社会でありたい。そのために同等の教育をする。(60代 女性)

女性に対して理解する。女性の積極性を高める。

男女には、体力、能力(男性の方が秀でている職業等)の差はあるので夫婦適した能力発揮の場を見いだして活動することがよいと思う。

男女共同参画の正しい意味、目的、メリット、デメリット等よく理解されていないと思う。

#### (70代 男性)

まだ男性が強いという世間的な空気を感じることは多いです。周囲からの視線を感じてしまうのは、 私だけでしょうか。

時代が変わると(また何年後かには)男女が平等であると感じられる社会になっていればと思います。 (30代 女性)

基本的には、互いに認め合う事だと思う。ただ、それは人に依存していても何も変わらないため、自 分が変わることだと思う。

そういった意識を、一人一人が持っていれば、より良い社会になっていくと思います。(20代 男性) 自由と権利義務は、押しつけ憲法により同一とされたが、身体的、積極的に男女の差はある。それを あえて、同一にしようとすることに無理がある。男でも女でも、能力のある者ないものあり、それを 考えて行動・発言することが大事だと思う。

誰であれ相手の気持ちを考えて公平に認め合い、相手を大切にして物事を考えれば、あえて男女共同 参画なんて考えることはない。(70代 男性)

大変難しい問題と、若い頃から思っています。そして若い頃より進展しているようないないような、複雑な感じを持っております。行きつもどりつ「へー、まだこんなこと!」と思うこと度々です。じっくりと年月をかけて、水が土にしみ込むようにと思う反面、時は待ったなし、と思っております。大切なことは平等と、同じということは違うということです。(70代 女性)

自分は、父親が完全に男尊女卑の考え方の家庭に育ちました。母親には働くことを許さず、(共働きは恥ずかしいと思っていた。)父親だけが働いていました。そのせいもあって、小さい頃は、それが当たり前だと思っていました。しかし、成長して行くにつれて、社会情勢の変化にも伴い、男女は平等で、個々の人格を尊重しあうべきだと考えています。ただ同年代の男性にそういう考え方じゃない人がほとんどなので、改まって自分の考えを言うことに抵抗があります。

自分も含めて、自然と世代交代等によって、そういう社会になっていくと思っています。ただ、性別に関係なく、あまりにも上下関係と目上、目下に対する言葉づかいも情けないほど乱れています。日本語も、造語とかをもてはやす傾向がありますので、そういう意味でこれかれの日本を憂いています。 (50代 男性)

女の仕事、男の仕事と決めつけないで、できることは、両方でやることが望ましいと思います。私は 59 才なので、今の若い人達の考え方と違うと思いますが、その仕事に対して、能力がある人は、女で もどんどんやった方がよいと思います。

会社がもっと考えてくれたら、もっと良くなると思います。(50代 女性)

お互いのコミュニケーションをとることです。(30代 女性)

お互いの特性を理解しつつ、固定観念を持たず、コミュニケーションをとりながら、前向きに進んでいったらいいと思います。(30代 女性)

私は年齢が 70 代ですので、自分自身のことではないですが、今の若い人達は、男性も協力して(育児・介護等)男女平等に働いていると思います。(知り合いの殆どがそうなのでそう思いました) (70 代 女性)

年齢が上がれば上がるほど、男性優位の考えが強いと感じる。

社会的に優位な立場に立っている人の考え方を見直すことが重要。(20代 女性)

お互いが思いやりを持って助け合っていければ、それが一番だと思います。(40代 女性)

男女が平等だといっても、女性と男性では、あらゆる面での違いがありますので、お互いに人間として尊重する気持ちを持って接すれば、何でもかんでも一緒にといった間違った平等へとは、進んでいかないはずです。

女だから、男だからと差別する事はいけないですが、男らしい、女らしいという性別があるからこそ、優れていることもあるわけですので、そこら辺をきちんと区別して考えないと、平等という不平等が生じてくるような気がします。男として、女として、いきいきとして暮らしていくためには、良さをはっきりと知って、認め合っていくことだと思っています。(50代 女性)

見方を変えれば、男女平等を進める弊害として、少子化、単身、晩婚化がすすんでいるのではないだろうか。(30代 男性)

毎日仕事に追われて「男女共同参画」という言葉は知らなかった。(60代 男性)

それぞれの個性を認める。(50代 女性)

男性が女性を性的対象として見ている限り、意識は変わらない。やはり、一個の人格として尊重してみてほしい。女性が発言すると「目立ち」「生意気だ」と周囲から思われる環境こそが問題。「21世紀は女性の時代だ」といわれる。それにふさわしい環境づくりをしてほしい。(50代 女性)

共同参画は必要であるが、女性の積極性が大切。私は女性だからと、責任から逃げるところもあり、 勇気を持ってぶつかっていくべき。

男女の特性は当たり前の事で、男だから、女だからと言っていても、前に進めない。失敗してもいい と思う。(50代 男性)

現状として、いまだ慣習が様々な場において根強く残っている社会。日々の生活においても、男女双方、お互いに尊重しともに助け合いながら生活できる社会を構築できれば、家庭や地域での生活にもゆとりが生まれ、女性の社会参加も広がり、社会のあらゆる場においても男女が対等に能力を発揮し、活動することができる。

少子高齢社会のまっただ中、男女で社会を支える仕組みが必要である。(50代 女性)

古い考えは捨てるべきである。(50代 男性)

意見をどんどん自由に言う方が良いと思います。(40代 男性)

法律は、まだまだ男性主体となっている。ここの点が、すべてのように思える。

女性が一人で生きる社会には、なかなかならないと実感している。離婚すれば、年金も夫のサインが 必要だ。夫が印鑑を押さない限り、年金も五分五分にはならないなんて、不合理な話はない。

これが基本である。これができない以上、男女がともにイキイキとは発揮なんてできない。

(50代 女性)

男女それぞれが、個性に合わせてお互いを理解し、できることをすれば問題ないかと思う。

(40代 男性)

男女差別という言葉を無くして、女性もどんどん社会へ貢献していくべきである。女性だから…といって、男性より全て劣っている事ばかりでない。昔の人(高齢者)ほど、その意識が高いのでは…。 視野が狭すぎると思います。

政治家の方々がもっとその意識をもっていただけるとありがたいです。(30代 女性)

男性は仕事、女性は家庭という意識を持つことをやめる。女性も社会に出て働き、自分の能力をいか す場を持つことも大切。

ただ、男に家事をおしつけたり、家にいたりするのを、女から強く言うのはしない方がいいと思う。 女性には、女性の、男性には男性のらしさがあるので、男女が全て(社会でも家庭でも)平等に同じ 仕事をするのは、違っていると思う。

お互いを尊重すること。(30代 女性)

それぞれ個性がありますので、男が女がと決めつけなくてもやれることをやったら良いと思います。 (50代 女性)

お互いに相手を尊重し合える間柄が大事だと思います。そのためには人としての成熟が遂げられるような日々を積み重ねていけたら、最高だと思います。

あらゆる情報が氾濫している日常の中で、流されることなく、自己を確立して行くためには、どうしたら良いのか人間として不変なるバックボーンを築くためには、思想・哲学に学ぶことによって、初めて可能になると思います。

そうして一人一人が相手の立場を理解し、思いやりとか共感の心を養い、人間として成長していく中で良い人間関係も育む事ができると思います。(70代 女性)

機会があっても、向上心がない。自己中心的な女性が多い。機会・条件を増やすことも重要だが、上記の女性達自身を向上させることは、同時に重要である。(50代 男性)

女性が、自分がやるんだという意識を持つこと。男性が、いつも代表になるという状況を変える。(世帯主、保護者などが男性であることが多い)(50代 男性)

年齢的に、私達が社会に出て働く時代からすると、かなりの年数が経ち、今はこうして日本の社会は男女の性別格差は進歩しました。

でも、やはり根本的な男女の性別格差は地方は偏見というものもあり、なくならないと思います。男女はやはり生理的なものをまず踏まえて、その上で男女が協同で家庭、子育て、介護を社会との関わりを成していくことが、次世代にも必要になっていき、導いていかなければいけないと思うのですが…。そうすれば、男女ともに共有できて個性と能力を見いだせるのだと思います。(60代 女性)

男女の区別を無視する、なくすこと。(50代 女性)

お互い、思いやることが大切。(40代 女性)

(50代 女性)

何事も家庭での基本ルールを元にして、取り組むこと。

年寄りを思いやり、主人を大切に、子どもには思いやりの心を育てるように話しかけるようにしてこ そ、自分の個性感性が生まれると思います。

人を思いやる心がなければ、男女共同参画は出来ないと思います。(40代 女性)

男女は元々、平等の立場ではないと思います。お互いの能力を出しながら、認め合う事が大事だと思います。(60代 男性)

職場でもどんな組織においても、男女の区別だけでなく、年齢・能力を問わず、一人一人の人間としての総合力を確認・みつめ、一人一役・適材適所をもって、構成・組織されることを望みます。

どんなに、政治・行政が良いことを言って素晴らしいパンフレットを作っても、実際仕事の現場であったり、自治会などでは、女性・若者・新しい者が、上に立つ事はほとんど無く、職場では男性上司が、地域では古くからいる中高年の男性の意見がすべてで、女性には、家庭・育児・仕事、全てをこなしている力があることを認められず、男性優位な社会であり続けることを望んでいると思います。素晴らしい資料を作っても、素晴らしい講座を開いても、見る方や聴きに来る方は、そう言う態度は取らないと思います。

男性優位な考え方は、見る事も、聞くこともしないと思います。(40代 女性)

男女が遠慮無く、言葉が言える環境をつくる。お互いに思いやり尊敬する。(70代 男性)

男女ともに性別年齢の区別無く、能力、または努力によって人を評価できる社会構造が必要。 (30代 男性)

皆、互いに認め合う、そして良いことを良いと素直に認め合う社会が大切だと考えます。「女のくせに」という言葉が聞かれなくなり、女性なのに(家庭のこともこなしながら)すばらしいと評価される社会を望みます。(50代 女性)

社会家庭において、男女平等にはなかなかなれないと思います。持って生まれたものがあり、それぞれお互いが上手につきあい助け合って上昇すれば良いのですが…。男性の社会の理解がないといけないのでしょう、また、女性自身も日頃から何かに向かって動かなければいけないと思います。それには、家庭の学校の教育の中で育てていってほしいと思います。

現在ボランティア等を少しして、地域の方と接していますが、もう少し若い頃からしっかりした考えを持っていれば良かったと思います。(60代 女性)

女性の社会進出を邪魔しているのは「女性」だったりする。女性自身の研修が必要。女性にリーダーたる資質があるのかどうか?よく見極めて、男女共同参画を進めるべき。女性・男性…で区別するものだろうか。

女性の比率を高めるため…数字にとらわれることないようにしたいもの。

男女共同参画社会の実現…訳がわかりません。能力があれば、自ずと社会進出できているはずです。 (50代 女性)

女性の方が、柔軟な考え方や、優先順位によって動かざるを得ないことの方が多いと思われる。 むしろ、男性の方が頭が固いと感じている。男性の被害者意識が変わらない限り、男女平等感も得られないし、女性に対する陰湿な嫌がらせもなくならない。(50代 女性)

互いに話し合い、理解し合い、認め合い、思い合える社会を築いていくことが大切だと思う。自分本位の考え方の人が多いように思う。(40代 女性)

男女がともにいきいきと個性と能力を発揮していくためには、お互いの役割を認め合い、思いやることが大切であると思う。(30代 女性)

思いやりが大切だと思います。(60代 女性)

達成するためには、 ・家庭での教育(鉄は熱いうちに打て) ・次に学校教育

- ・女性のリーダーの養成(地域でのイベントなど女性の元気の良いところは活気がある)
- ・審議会委員等に女性の割合を40%、50%はあまり効果がないと考える。(半強制的な義務づけ、行政等の自己満足) その他、書ききれないので省略(60代 男性)

男女平等を話し合うことがすでに差別している事だと思います。(30代 男性)

女性ならではの得意分野や、男性ならではの得意分野 (力仕事など) あるため、いちがいにすべて平 等にするということは難しいと思う。

男女平等にこだわるのではなく、人としての平等を目指すべき。(30代 女性)

女性限定・男性限定などの性別によるサービスを一切やめる。(20代 男性)

体の仕組み、体力の違う男と女を何が何でも同じにと言うのも疑問を感じます。それぞれの優れた能力を認め、足りない部分を補い合えればいいと思います。(40代 男性)

自分の思っている事を云えるように努める。(70代 男性)

お互い相手を理解し合い、相手を思いやりの心、広い大きな心、信じ合う心、人間は一人では生きてられないよ。(50代 男性)

男、女ではなく、お互い一人の人間として、お互いの気持ちを思いやり、互いに助け合う、と言う気持ちを持ち合えたら、どんなに良いことだろうと思う。分かっていても、やはり難しいものです。 男の人は、自分が一番大変なんだと思うけど、女だってそれ以上にがんばっているのです。子どもを産むという大きな仕事をしているんだから…。分かってほしい…と思います。(50代 女性)

男女に関係なく、個人個人の意見を尊重し合うこと。何事も話し合いで決めれば良いのでは (コミュニケーション)。

男が威張る時代は終わったと思います。(60代 女性)

差別のない社会づくり。(30代 男性)

主人と合意のもとで書きました。

新聞・テレビ等を見て思いますが、自分中心で悪いのは他人、それで悪くなったと、もっと自分をしっかり見つめてほしいです。一人では生きることは出来ません。皆同じ考えでも、体でもありません。思いやりをもって、協力し合うことができるよう願っています。(60代 女性)

男女が全てにおいて平等でなくてはならないという事はないという考えです。

やはり、子どもを精神的に大人にするには、それぞれの良さを出してこそです。

その家族から育った子ども達が社会を作るのですから、やはり家庭でお互い(夫婦)に心から愛して結婚したのだから、思いやり、精神レベルを上げていけばよい運気を作りだすことだと思います。日々感謝していけば、トラブルもないし、また、チャンスがまわってくる良い生活になると思います。

男には男の、女には女の良さがあるので、全て平等にする必要は全くありませんと、私は考えています。(30代 女性)

大人になってからの意識改革はとてもむつかしい。幼児期からの意識教育が必要。(40代 女性)

男性(特に中高年)の「上から目線」な物言いはやめてほしいと思う。また、女性(特に中高年)の 自分達が常識と思っている状態から「はみ出すことを許さず」な発想もやめてほしいと思う。

男でもひ弱な人、女でも力持ちな人、若くても博識な人、高齢でも元気な人、高学歴でも非常識な人、この世には色々な人が色々な考えで生きている。たとえ自分は受け入れたり肯定できない事柄でも「全否定」するのはどうかなぁと思う。例えばそれが「殺人」であっても、そうしなければならないと思いこむきっかけは必ずあるはず。(「殺人」自体は決して許される事ではないけれど)

自分以外の人間と関わるとき、重要なのは「聞き取る力」と「妥協点を見いだす力」そして「分かりやすく話す能力」だと私は思う。現代人にもっとも不足しているもの…コミュニケーション能力と、自主自立の精神を養わなければ、鳥取の未来は暗いと思う。(40代 女性)

男性だからとか女性だからではなく、皆一人の人間として障害が有るとか無いとかでは無く個性として、働きたくても家から出る事の出来ない人も含めて(自分に何ができるかが解れば良いのですが、何をどうしたら良いのか思いあぐねている人が多いと思います。私もその一人です。)良いところと認め合って、生活できる社会になれば能力が少しは発揮できるのではないでしょうか?(50代 女性)

男女の別にとらわれず、自分を生かす、そして相手を生かすために何ができるかを考える。お互いのコミュニケーションをしっかりとり、自分がやるべきこと、自分ができることが何か、きちんと確認できれば、色んな事が気持ちよくできるのではないかと感じている。相手(周りの人)に対する感謝の気持ちも忘れないと思っている。

人は一人では生きられないし、男性・女性両方が存在することで、より安心して、より豊かな暮らしができるのだと思う。(40代 女性)

男だから、女だからという意識や慣習が根強く残っていると思うが、個々の自分自身をさら女だから…と思ってしまうところを変えていきたいと思う。(40代 女性)

コミュニケーションが大事。お互いに思いやる心。

相手の立場になって考えてあげることのできる人間であること。(30代 女性)

"男女平等"ということは、あまり好きではありません。やはり、男の人には男にしかできないこと、女の人には女しかできないことがあって、当たり前なのではないでしょうか。それを、「自分は男だから女だから」ではなく、足りない部分を補っていこうという一人一人の気持ちの持ち方で、男女平等も成り立っているのではないかと思います。(40代 女性)

男女の平等を強く広める事が正しいことだと思わないので…。男女がともにいきいきと、であれば、 それは家庭内で理解しあえたら良いのかなぁと。

人として役割が違うのに、すべて平等にならないと思うし、女性が平等であれ!! と騒ぐのならば、 男性にも、生理休暇も、育児休暇も必要でしょう。

私は、体力も、能力も、勝てる気がしないので、男性に甘えたいし、爽やかにお茶汲み業務ができることも女性の能力だと思えますが…反社会的なのでしょうか。(30代 女性)

男女を問わず、その人の個性・能力を尊重し合うことが大切だと思います。(30代 女性)

男女共同参画という言葉はよいですが、今の時代、共働きがほとんどなので、できる人ができる事を するという考えがよいと思います。

ですが、私の考えは古いかも知れません。男(夫)をたてるというか…、基本はくずしてはいけないと思います。(40代 女性)

私はまだ学生なので、特に男女が不平等であるということを実感する機会がないのですが、一歩社会 へでると、なかなか平等であるとはいえない現状があるのだと思います。

昔からの慣習などで、そのような不平等さが「当たり前」「そういうものだから仕方がない」という 意識が多くの人の中に染みついてしまっていると急に変えていくことは難しいとも思います。

地域のネットワークづくりや、教育機関での取り組みで、より多くの人達の意識を変えていくことが 必要となってくるのではないかと思います。(20代 女性)

何事もすべて男女平等とはいかない面もあり、それぞれの能力や特性を生かした振り分けも必要と思う。(60代 男性)

各世帯に色々な理由があり、共同参画だ平等だと、頭ではわかっていても、実際どうにも動けないのではないか。社会の構成が変わらない限り、夢の話でしか無いと思う。(30代 男性)

男女がともに…すばらしいと思います。

でも、医療や福祉にも、もっと視野を広げていただきたい気持ちで心が一杯です。(30代 女性)

女性のおしゃべり会でも、男女共同参画が話題になることはありませんでした。女性団体 (婦人会、 子育て支援センター等) を通じて年に一回位考える機会があればと思います。

豊かになりましたが、心配な話題も多すぎます。働くにも仕事がない。残業・単身赴任(男女共同参画にもっとも遠いのでは…)保育園・介護等、もっとゆとりや、お互いを思いやる気持ちが持てる社会になれば参画から自然に実行されることと思います。(60代 女性)

いろいろな取り組みにより、男女共同参画の考え方が少しずつ広がっているように思う。

(50代 女性)

男女共同参画は、一部の人達には非常に盛り上がっていますが、その他の人はさほど気にしていません。しかし、少しずつ変化は有ります。共同参画を食い物にしている人も見受けられます。

やる人間、される人間、良く見てやりましょう。女は女、男は男、これは差別ではなく、区別だと思うこともあります。(50代 男性)

お互いの個性を認め合い、女性は男性の個性を尊重し、男性は女性の個性を尊重し、お互いの長所を 発揮しやすくすればよくなると思う。(80代以上 女性)

男・女、平等でなくとも、人・人間として平等に。違うということはすばらしいと思うように。 (40代 男性)

一人一人が過去の慣習に縛られずに考え方を変えていくことが必要だと思います。(40代 女性)

時代とともに慣習等を見直してもよいが、本来、男性なり女性がすべき事はやはり、その通りやっていくことも必要(本来の男女の役割や文化に基づいて)。本人や、地域で納得がいっているものまで、男女平等の名のもとに、崩していくのは問題だと思う。平等というのは、何もかもを平等に扱うということではなく、機会や、能力の発揮を伴うにあたり、特に扱っていくことが本来のあり方ではないか。何もかも平等に持っていくことで言われる「弱い男」も、かなりできてきている。それから、平等といっても男女共同参画はできると思う。

男性の意識はもとより女性も本気で、その辺を考えなければ、「絵に描いた餅」に過ぎないと思う。 (40代 男性) 鳥取県の人は、保守的なので、難しいのではないかと思う。

男女という枠に捕らわれず、個人を尊重することが差別をなくし、一人一人がいきいきと生きていけるのではないかと思う。(30代 女性)

心に余裕があるというか…。ゆったりとした気持ちでみんなが生活できることが大切だと思います。 そのためには、職場の体制、家族の理解、こうしてほしいと思う支援がいつでも受けられる状況が必要かな、と思います。(30代 女性)

男女平等の意識を持つことが大切だと思います。(40代 男性)

男女が性別により差別されることなく、個人としての能力を発揮できるよう、男女がお互いの人権を認め合い、社会制度や慣習等を見直すことが必要です。そのため地域や職場で男女共同参加ができる条件を整備し、その教育の充実を図り、さまざまな分野で女性が活躍できる環境づくりが必要です。また、仕事と家庭が両立できることが実現すれば、例えば、労働時間を短縮することができると家事や育児や仕事・地域活動等、男女で公平に分担できると考えます。(50代 男性)

家族でのお互いの思いやり、それが社会に出た時にも結びつく。みんなに対しても、その気持ちがあれば、世の中平和なのにとつくづく思います。(50代 女性)

女性がもっと積極的になり、その事を周りの男性が支援する。暖かく見守る。

特に年代の高い男女の固執的な物の見方を改善するよう工夫する。(60代 女性)

年々女性への社会参加は、確実に増加していると思われる。

よって、今後も様々な施策によって、男性、女性共、互いに認識を高めて共同参画社会を目指すとかないと思います。(60代 男性)

何でも男女平等と言うのはいかがなものか。都合の良いことだけ女性の特典のある制度がある。(母子手当等)

男女共同参画推進は、中小企業には縁がなく、大企業、公務員のための制度のように思われる。

県職員の管理職は、女性の登用率を上げるために同期の男性より昇進が早いように思います。逆差別ではないでしょうか。(50代 女性)

会話し、互いを理解することが大切と思います。(40代 男性)

女性はあらゆる場合に参加する方がよい。(80代以上 男性)

男女共同参画の意味の取り違いをしている人がいる。何事も平等だと言ってしまうが、性別の違いがあるように、男性にしか出来ないこと女性の方が良いことは沢山あると思う。できることをお互い助け合い、細かい気遣いのできる所はできる男性・女性それぞれがやれば良いことで、女性がお茶を入れると、それは男性にもさせるべきと言う人がいるが、おいしいお茶を入れてくれる女性がいれば、それはそれでいいと思う。

目くじらたてて男女共同参画を言っている人が一番勉強して理解を深める必要があるのでは…。あまりに肩の力を入れて物申す女性を見たことがあり、男女共同参画について少し嫌な感じを受けている。

女性じゃないと気付かない細やかな配慮、男性にいくら伝えても、性そのものが違うためわからない。 男らしく女らしくがあっても大変良いと思う。

日本の恥の文化、らしさの文化、伝える必要もあるのでは。(50代 女性)

女性はすごく勉強する人はするけど、今までで良いという人も結構いる。そういう人は男女共同という言葉をどう思っているのだろうか。

男が外で仕事をして帰っても、家事を手伝いなさいと言う人が多いのに驚く。専業主婦の人達、私は そういう人達を見ると腹立たしく思うことがある。

私は農業です。朝起きて帰るまで、自分の部屋に入ることなど無い、毎日が忙しく過ごすのが多いです。(70代 女性)

夫婦間、家庭内の理解とコミュニケーションを図ることが大切。女性・男性として、立場を良く理解し合うこと。男性でないと出来ないこと、女性に適したもの等。何でもかんでも平等とは限らないと思う。よく理解しあう。方程式どおりにはならないことがある。(70代 男性)

お互いへの思いやりが大切。(40代 女性)

男性がやるべき事、女性がやるべき事をしっかり意識して、なんでも分担するのではなく、男女の特性を生かす活動にすべきと感じる。(50代 男性)

ジェンダーフリーを唱える方が、昔話の桃太郎に出てくる鬼は悪者ではなく個性だ、また、鯉のぼりのまごいは、お父さんでなくてもいい序列をつくっているなどと言っていると噂で聞いたことがありますが、その物語が何を言おうとしているのか、の方が大切であると思うのですが…。

また、秩序を保つには、序列も大切なことだと思います。基本は相手を思いやる気持ちだと思います。 (50代 女性)

男女の性別が有る以上、男性の良さ、女性の良さを保ちながら、お互いを思いやりながら生活していくことが大切であると考えます。

男・女としてより、一人の人として、その人を尊重したり、人としての繋がりが保てるような生活を送ることが出来ればと思います。

鳥取県が大好きです。どうぞ住みやすい鳥取県を作ってください。(40代 女性)

お互いに良さがそれぞれあると思うので、その部分を認め合う。

男女ともに能力向上をはかる。(30代 女性)

女性にしかできない事もある…でも、出過ぎると「出る杭は打たれる」という感じ方がある。(年配の方、 $60\sim80$  歳まだ仕事もされている方に多い。)女性自身も出たくない考え方の方も多いと思っている。(40 代 女性)

人間尊厳の哲学が必要(70代 男性)

家庭を含め、すべて組織には序列が必要であり、そこに所属するすべての人間が、不満がないのであれば、それを尊敬すべきであり、むやみにやたらに平等を唱えることは組織の混乱を招きかねないと思う。

火のないところに火種をふりまくような活動にならないよう。(30代 男性)

個々の人の考えや生活の尊重(50代 男性)

男女の関係なく、お互いが収まりの良いところを受け持つことが一番と考えます。(40代 男性)

女性を登用しようとしても、人材がいる。

能力とやる気が有れば、役員に登用するのだが。(60代 男性)

男女と言うより、もっと人としてお互い認め合い感謝し合い、尊重しあう心を養う事がもっと大切じゃないかと思います。このことを忘れて、共同はないと思います。

もっと命をいただいて人としてどうあるべきかも考えていくべきではないでしょうか。(50代 女性)

個人個人で事情・状況が違うので、一律の決まりや約束事で解決出来ないと思う。

考えていることが言えて、それを聞いてくれる人がいて、その周りの人が理解し協力することが一番のような気がする。(60代 女性)

今はまだ、男女の差別がありますが、10年後は男女の差がなくなっていくのではと感じています。今の女性は、強く、しっかりとした考えをもった方が多くいらっしゃいます。

男性の方にもっとしっかりしていただきたいと感じる今日この頃です。(50代 女性)

男と女が協力し、理解しながら取り組むことが必要だと思う。(70代 男性)

女性への差別を意識するあまり、女性への過剰な優先的取扱により、男性が逆に差別を受けてしまう 結果にならないよう、注意しなければならないと思う。(70代 女性)

男女が互いに尊敬しあう意識を持てる教育の実施。(50代 男性)

男女がすべて同等に考えなくてもよいと思います。それぞれ、男と女に与えられている賜物をどう生かしていくかということが大切だと思います。

個人が尊重しあえる社会を願います。(40代 女性)

今の世に男女と別に考える事がおかしいと思います。生まれた時から、男は女と比べる事の出来ない才能を身に付けてこの世に来ました、でも、女の私は男の出来ないことをやり、ともに助け合い、愛を持って笑顔で生きることと思います。(70代 女性)

男女がお互いに相手を思いやる心が有れば、個性と能力を発揮できると思います。(40代 女性)

なにせお互いを思いやることが一番です。(30代 女性)

何が男女共同なのか、いまいちはっきりしませんが、やはり差別はいまだにあると。これは一生なくならないと思いますが。

お互い「男だけな」「女だけな」はどこでも聞く言葉です。暮らしにくい世の中になったのは間違いありません。もっと、何が大事なのかを考えてもらいたいです。(40代 女性)

男性と女性は体力面精神面、また、作りそのものが違うと考えています。

男性像、女性像、女性らしさ、男性らしさの概念は、ある程度あって当然かと思います。それを踏まえ、子ども達に道徳的なことを学ばせていくことも大切だと考えています。

職場も変化し、看護婦さんが看護師、保母さんから保育士など、名称の変化に戸惑った時期もありました。看護師に関しては、実際入院し、男性の看護師から世話を受ける立場になった時、女性の方に変えていただきたいとお願いしたこともあります。

女性は子どもを産むという役割は、人間が創造されたときから与えられたものです。子育てもそれに 近いものがあると思います。男性が女性から入浴等の世話を受けなくてはならない状況になっても、 そこには「母」の影が存在し、許せるはずです。しかし、男性が男性を、男性が女性をとなると、そ うはいきません。

男女共同参画、私は何を叫び、何を求めようとされているのか、疑問を抱いています。(50代 女性) 男と女である前に、人間と人間であるという意識を持つことが、大事なような気がしてきます。(50代 女性)

女性と男性は、もともと違うもの。無理に同じ事をさせようとするのではなく、それぞれ役割があるはず。その事を念頭に置き、調和を図る事が大切だと思う。(50代 男性)

最近は、昔頼かは女性が強くなってきたのではないかな?と思います。

でもどうしても、年配の方々の女性を下に見る感じの対応が見ていて腹が立ちます。(20代 女性)

男性には男性としての生まれながらの役目があり、女性にも同じ事だと思います。

平等も良いことだと思いますが、それぞれの得意分野をフルに生かし、お互い納得の上で、毎日感謝 の念、尊敬の念を持ちながら仲良く暮らしていきたいと願っています。

以上のようなことを忘れて、この活動を推し進めても…。(60代 女性)

男女ということを考えずに、一人の人間として色々なことに挑戦していくべきです。(40代 女性)

職場や地域社会で、お互いの人権を尊重して協力して行ければ良いと思います。(50代 男性)

男女が全く平等になるのは無理だと思う。やはり、家事の一部は、女性ならではの分野があると思う。 それよりも、堅苦しい、古来の差別感をなくし、互いの能力を個人の裁量で決めて(周りではなく) うまくバランスをとる、その自由度を認める社会であってほしい。

ここまでくれば、男女のジェンダー論よりも、個人を認めることが大切。男女間の話し合いをする時も、女性の意見(これは貴重です)を奥まで理解するより、努力してほしい。(40代 女性)

女性の能力を正当に評価出来ていない現状がある(能力の無い人が評価する立場にある)。

(50代 男性)

夫婦、職場、学校、社会すべて男女で成り立っています。思いやりの心を持って、まず、相手と話し合い、自分の考えを伝える努力をすれば、女性の考えを聞く、そして理解するよう努力する。対等として見るよりも、一人の人間として見る。 男女=人間 老人=人間 子ども=人間(50代 男性)

年齢に関係なく、目標設定に基づく日々の生活を確実に実行している方、素晴らしく感じます。個性と能力を充分に発揮できる環境社会が到来する事を切望します。(60代 男性)

男性が女性を思いやること 女性は男性をうやまうこと

平等とは言えないかもしれませんが、一番人間の底にあるものをきちんと考えていたら、良いバランスで家庭も和やかに、子どもや両親にやさしい心がつくれるのでは?と毎日思っています。

お互い支え合って生活しないと生活できないので、男はダメ、女もダメでは、生活はうまくいかない と思います。(40代 女性)

役割を半分・半分にするのが平等ですが、男女の場合はそれぞれいいところを生かしてできるところを補っていけばいいと思います。「男が働くのが当たり前」「女が家事をするのが当たり前」この当たり前という言葉をなくし、感謝(ありがたい)とお互い思いあえばいいと思います。(20代 女性)

### 2 家庭での男女共同参画について(42件)

男性が、家庭や地域のことを手伝えるよう、仕事場の環境を整えるべきです。「女性を社会に」といっても、子どもや家族のために制限されることが多く、それを手伝ってほしい夫が残業ではどうしても無理です。

県をあげて、「男性の家庭サービスデー」とでもしないと、個々の会社では、仕事を特定の人が家庭 サービスするゆとりをもたせることはできないのです。

女性に目を向けるなら、男性も同じように見ないといけません。(40代 女性)

男女が対等に働いたり、社会に出ていける環境になることは、とても大事なことだし、そうあるべきだと思う。

でも、男と女は、同じではなく、区別されるべきこともある。社会に出て働くという選択肢と同じように、家にいて家事や育児に専念する事も一つの仕事として認められる社会であってほしい。

保育園の先生などを見ていると、我が子を他人に預けて、自分は他人の子どもを保育している…という状況になぜか矛盾を感じる。自分の子ども達をしっかり家庭で育てることも大切なことなのに…。 (30代 女性)

学校での教育で、子育て、家事、介護は、お互いに協力して行うものだと考えてほしい。 (30代 女性)

男女平等は良いことだと思いますが、あまりそれが進みすぎで、男の子がひ弱になってきていると思います。女性が、男女平等という権力をふりかざし過ぎなんじゃないかと感じてなりません。

昔みたいに、多少は男の人をたてる、3歩下がって女性は歩く…的な方が、バランスのとれた、良い社会が造れるような気がします。平等であることはいいことですが、やっぱり私は、主人には家庭の中では「どんっ」と構えていてほしい存在なので、家事・育児にどっぷりつかってほしくありません。もちろん、子育てには、父親の存在はとても重要なので、しっかり関わりは持ってほしいですが、母親は父親を尊敬している姿を、我が子にはしっかり見て育ってほしいと思います。

「お父さんは偉い人なんだ」「お母さんはそれを支えてるんだ」っていう考え方が、私は家族円満の 秘訣だと思いました。(30代 男性)

家族において、男性の仕事、女性の仕事と区別することなく、ともに協力しあってます。 (40代 男性)

男性が家庭を守り、女性が働きに出てもおかしくない社会の風潮を育てる。(60代 女性)

身近な家庭では、2世代より3世代の家の方が、女性の負担が多いと感じます。

親と同居をしているお父さんは精神年齢が低い、自立出来ていないと感じます。(40代 女性)

男性の就労時間が長いため、結局、女性が仕事・家事・育児の全てをしなくてはならない。自分には 自分の時間が全くない。リフレッシュできず、疲労とイライラが溜まる。子どもが親を必要とするの は、今だけだから、期間限定と思って頑張っている。時々、自分は家政婦かと思う時もある。

(30代 女性)

女性の仕事と思われた、介護・子育て・家事からの解放。(50代 男性)

家事の分担。逃走禁止。コミュニケーションの必要性。(70代 女性)

家庭では、それぞれの分担(協力する)でいいと思います。(70代 女性)

男性がもう少し、家事、育児等に関わり、女性の家庭での負担を減らし、お互い地域社会の活動に参加しやすくする。子どもが小さければ小さいほど、女性への負担が大きく外へ出る機会がない。

(50代 男性)

自営業ですから、問2の3 [男女がお互いに個性・能力を認め合い、補い合っているという認識を持つ] のような考えで暮らしていますが、子どもが居ませんので、今までもこれからも男女共同参画家庭です。(60代 女性)

我が家では一度、私が仕事をして、主人に主夫をしてもらった事があります。 育児や家事を実感しているため、理解はかなりあると思います。 (40代 女性)

女性は家事が多い。自分自身の時間がもてない。家族と相談して、女性にもゆとりある生活をしてほしい。(50代 女性)

私達夫婦は 66 才ですが、仕事も今までどおりパート・アルバイトですが、使って下さって、とても 感謝しています。

それには私が、食事の用意が出来ていない時は、主人がしてくれたり、掃除も頑張ってしてくれます。 卓球、カラオケ、ウォーキングなど、楽しみながら男女共同参画で助け合って家族の事もやればお互 いが楽で生活も楽しくやっていけると思います。(60代 女性)

家庭のあり方、家事の分担…全てが同じようには色分けできるものではなく、お互いがよくよく話し合って役割分担すべき。(50代 女性)

男性も子どもの頃から食事の用意ができるよう、家庭でしっかりと教えておくべきだと思います。夫 (60代) はご飯も炊けません。私が帰ってくるのを待つばかり。結婚当初に教育しておけば良かったかな?でも、両親との同居で非現実的であったこと。

また、今夜も明日の食事の準備。私が仕事で遅くなれば、機嫌が悪いし…アーア!!

でも、洗濯は彼の仕事にしてもらってます。たたみ方に不満はあるけれど、感謝していますよ、アナタ!! (60代 女性)

男女共同参画は、それぞれの家庭生活、つまり親の考え方、育て方が重要な部分を占めていると思います。今、子育てをしている親たちが、男女共同参画をどれだけ意識して育てているかによって今後の男女共同参画社会が作られていくと考えます。子どもの頃に植え込まれた習慣やしきたりなどは、早々変えられないと、今、痛感しているので、そう思います。我が子は女ばかりなので、大人になって家庭を持つようになる頃には、もっと男性の家庭生活への参画が進み、男女平等になればいいなぁと思います。(40代 女性)

年配の方は、どうしても女が家事をして、子育てをするべきだという考え方が抜けないでいる。考え方を全て改めてほしいとは言わないが、核家族が増えていて、分担しながら生活しなければならない実態をもっと理解していただきたい。自分達は、もっと大変だった…ばかりで協力・助け合おうという気持ちの人が少ない気がします。女も仕事に頑張っている苦しさも知ってほしい。(30代 女性)

昔からのしきたりで、女が男の身の回りの世話をする家があるけど、お互い良くない。男は女がいないと家の中のことがまったく分からないで一人になった時困るし、女性もそこまでする必要ない。同居だと、姑に同じようにやらされ悪循環(私の母はやらされている)。

家事・育児は遊びだと思っている人がいる限りちょっときびしいかな…。(20代 女性)

家事の参加はその人なりの好き嫌いもあるが、生きるため、誰もができる力を持ち興味をもって行えると良いと思う。(40代 女性)

女性が働きやすい社会になることは(育児サービスの充実など…)幼い子ども達の人格形成に大きな影響を与えていることは事実だと感じます。「女性は家にいて家事をしろ」ではないですが、家事・育児も大切な仕事なのだと実感できる情報提供もできると、おかしな世の中が少しでも更生できるのではないでしょうか。

私は、男女共同参画、昔から大反対です。(40代 女性)

家族が協力する。家庭での話し合い。(30代 男性)

60代70代80代90代の男性は、家のこと、育児のことは奥様に任せ外で働くという考えが多い。今の若い夫婦は、家事のこと、育児その他色々協力してくれる。また、現在は共働きの人がほとんどで、女の仕事に理解がある60代70代の女性は家事をしながら、少しでも豊かな生活がしたい、もしくは生活がよくなって来たので外に出る機会があり、人との交流を楽しみたい。(60代 女性)

男が特別なことがないかぎり早く帰宅すること。早く帰宅出来ないと家事はできない。

- ・男が料理を習ったり、作る余裕が必要 ・男と女が協力し合うことが必要
- ・互いが思いやることが必要 以上のような社会になることが必要。(50代 男性)

家庭における夫との家事分担協力があれば、自分も社会に出ることが出来ます。(我が家の場合)仕事と家庭と主婦の負担が多く、職場選びも限定されます。

夫婦平等で家庭が保てれば、女性は子育てと仕事の負担が減りますし。

しかし、私は子どもも主婦の大きな仕事の一つだとも思っています。能力発揮は仕事以上に大切なことだと思っていますが。(60代 女性)

男と女はやはり同一に仕事はできないと思っています。両方とも立場が違うからです。しかし最近では、消防署や自衛隊などさっそうとしている女の人を見ると良いなぁと思います。ですので、そのような方がいつまでも働けるよう、子育て支援が一番だと思います。仕事のできる人こそ、家庭が温かい方がよいと思うのです。

仕事が終わって帰った後、夫が優しいのが一番理想なので、そのような世の中になるよう、思いやり 教育もよろしくお願いしたいと思います。

夫婦別姓は自分達は良いのかもしれませんが、子どもが何人か出来た場合子どもはどうなるのか考えてみてください。可哀想だと思いませんか。(60代 女性)

子どもの世話でも自分でできるからと思い、ほとんど自分がやってしまうけど、思い切って、夫に預けることも必要だと感じている。それを少しずつ重ねていくと、子ども達の夫への思いや感じ方が変わってくるのではないかと…。

今は何でも「お母さんがいい!!」なので、すこしずつ「お父さんがいい!!」が増えてくれたらな ぁと思います。(30代 女性)

妻(嫁)が家族をサポートして、夫・子のための土台(的)になっている。自分のしたいことは、二 の次に感じる。

家庭内のコミュニケーション不足はその不満からきていると思う。(30代 女性)

女は仕事より家事育児という考え方は高齢者程強く感じる。男が台所、家事を共同でしていると"そんなことするな!!"と親の声が入る。その考えは変わらない。(40代 女性)

女性なので家事について、お父さんの協力をお願いしたい。しかし、依頼しにくい。結婚した当時から、クセをつけていない。子ども(男の子)について同様。

自分の中に、男女差別がある。しきたりとかも、大きな考え方をしめる。

なかなか共同参画は難しいことだが、共働きの我が家では、お父さんに動いてほしい。兼業農家でもあり、そう思う。男は仕事だけではいけない。

女だけの仕事・家庭の世話がまだある。自分の頭の中でも、正さなくてはと思う考えの一つである。 (50代 女性)

女性は仕事も、家事・育児・介護とたくさんのことをしてきています。男性は、仕事をして、それで 終わりと思っている態度が長年の日本教育の失敗だと思います。

家族みんなで協力していこうという、協力意識改革(教育)がなされていない。幼い時からの教育だなーと。(50代 女性)

子育でをしている女性は疲れていると思います。仕事して家事をして子育でをして一生懸命何役もこなすのに、世の中は、そんな母親を頑張っているとはいわず、母親なら当たり前と見ていませんか?独身で仕事ができる人を頑張っている!とはいえないと思います。頑張っているのは、仕事、家事、子育でしている女性です。男性は同じように仕事をしている妻の手助けをしようとする人が、まだまだ少ないと思います。

夫婦共働きの家庭では、育児も家事も半々でなくては、女は疲れてしまいます。(50代 女性)

男性も何の抵抗もなく家事や子育て介護を大切に考えて、少しでも助けてもらえるととてもうれしいです。

私達の親の世代はすでに、定年退職して何年も経ちます。見ていると、父親は家のことがなかなかわからず「ぬれ落ち葉」のようになって依存して、でもカラ威張り…。母親や家族の者からは疎まれがちになっています。

80 才になっても何歳になっても、男女共同参画、いきいきと男女平等互いに尊重して生活できるようにと思います。(40代 女性)

家庭の中で配偶者の理解は変わりつつあるように思いますが、親世代の認識を変えていくことは難しいように思います。二世代、三世代同居生活では、家庭生活の平穏のために我慢と犠牲、忍耐力かと感じています。(50代 女性)

異性の家事・育児にもっと協力すること。(40代 男性)

道徳教育の充実とともに、「家庭」の役割を重視する施策が必要。(60代 男性)

「お互い様」の感覚をもってほしい。できる時にできる人が家事をする。家計の収入をどう分担するのか話し合うなどして、男性だから、女性だからの意識は極力避けるようにしてほしい。

#### (50代 女性)

男は仕事だけしていればいいのに対し、女は、育児・家事・それに、学校、子ども会、町内会などの 役員をしていた時は、とても忙しかったです。

男の考え方をどうにかしてほしいです。大人の男のはずですが、子どもと変わりません。

## (60代 女性)

まだまだ地域にも大人にも、家事をするのは女の仕事といった慣習が根強く残っている。特に親(40代~)の世代は変わることは無いと思う。

もっと T V など日常的にそれが普通だと昔とは変化しているのだと認識を改めて行く必要があると思う。 (20代 女性)

鳥取県は、共働きの家庭が多いと思う。多くの家庭が、女性は仕事もして、家事もして、子育てもしているのではないでしょうか。

もっと男性が、家のことに手を出してほしい。しないようにしてしまった私も悪いとは思うが、今の子ども達に協力する事を教えるべきだと思う。

最近の若い人は男性も家事をする人が増えつつあるように思うが、それが普通であってほしい。 (年代・性別不詳)

## 3 地域での男女共同参画について(9件)

まず、身近で取り組みやすい、ボランティア活動を積極的に参加し、お互いに交流し、地域の人の顔を知る。いくら会社で仕事、仕事に追われているからと言って、町内の行事に不参加や関心がない人があまりにも多すぎると思います。役員任せではどうかなと思います。

大人が示そう、挨拶。今、現在の事は勿論、子ども達の将来は大人の生活態度が大きく影響するもの と思われます。一生勉強です。

近所づきあいも子どもの頃から学ばせたいものです。(60代 女性)

地域では、偏った考え方の高齢者が自分達の都合の良いように運営しているように感じます。 (40代 女性)

- ・自治連の役員は殆ど男性であること・役員の中には、封建的な考えの役員(男性)が多い
- ・女性の意見を、親身に聞こうとしない司会者(男性)が多い 以上、現実の様子です。

#### (80 才以上 女性)

夫の実家は中部の漁師、男女差別を初めて感じました。

義理母はとても苦労したと思います。古い地域の年寄りを教育すべきでは。(30代 女性)

鳥取県は田舎なので、いまだに女性が家事等して当たり前という古い価値観や固定概念に捕らわれていて、女性の負担が重い。社会がこれだけ変わっても、それに応じた考え価値観を持っていかなければ、誰かが犠牲になることになる。それが女性だとすれば、社会も発展しない。

家庭でもそうだし、地域活動でも炊飯や片付けを当たり前にやらされて疲れる。

もっと地域レベルで、男女のジェンダーについて啓発活動を行っていかないと、女性の人生が重荷の 多く、制限されたものになってしまう。(30代 女性)

休日は日曜日のみなので、地域参加の行事など、なかなか参加できない現状です。男女差別がかなりあります。(かといって、今は仕事がないので辞められません。)

ボランティアでも、参加したいのですが、どういうボランティアがあるのか、わからない状況です。 地域自体で女性が参画できる情報をわかりやすく知る方法があればいいなと考えています。

# (50代 女性)

女性の中にも沢山リーダーがおられます。そういう方が後に続く人を養成していくことが、一番説得力があると思います。人材は沢山あると思います。

自分からは手を挙げにくい、他の人から押されれば出て行きやすいのではないかと思います。

### (50代 男性)

こういう資料を作成する(関わる人)こと自体この主旨に興味を持たなければならない環境にあるが、ここに触れることのない人、地域、まだまだ沢山の偏見があります。特に田舎の嫁の環境(家庭にもよりますが)は、「おしん」のような毎日です。その地域に住まないとわかりません。でも、そこには若い人達は想像つけて住みません。だから改善もされません。納得しない人間(来た者)は長い歴史から、出て行くしかすべがないのも事実です。これからのこういう教育で、新しい常識を受け入れられない地域に子孫は暮らさないと思います。そんな思いを持つ人が暮らさないと未来有る地域にはならないと思います。(40代 女性)

地域活動等、「子ども会の役だから」という形でも社会貢献し、男女ともに、様々な活動の中で鳥取 県を発展させていただければ良いと思ってます。(40代 女性)

# 4 就労、働き方について(44件)

女性が社会の第一線で働いているのはごく一部の人であり、経済的理由で働いている人が殆どだと思う。家事、育児をこなしながらの仕事は、かなりストレスが溜まることであり、夫の協力はもちろんのこと、祖父母、地域の支援なしでは子育てしながらの労働は難しい。

色々と男女が平等に働けるようにと案はあるようだが、殆どの人が、それだけでは苦労なく仕事を続けることが難しく、結局は女性は子育てを優先し、働ける時間だけ仕事をする場合が多くなることは避けられない。

幼・保・小・中の子を持つ親の誰もが感じている事だと思う。そういった面でのサービスの向上を願いたい。(30代 女性)

子どもがいるという理由だけで、就職できないという実例を多々耳にします。

そのため、なかなか働けず、金銭的にも、精神的にも辛いと悩んでいる女性が多すぎるのでどうにかしてほしいと考えています。(30代 女性)

仕事、家庭生活、そして個人の生活、この3つをバランス良く人生の中で保っていける生活が一番大切ではないかと思います。

基本は何よりも「夫婦お互いの相互理解」「相手を思う気持ち」これが一番だと私は思います。

(50代 女性)

大手の一般企業に勤めていますが、8月末で退職します。結婚して産休を取ってということができるにはできますが、仕事がハードで、男性と同じ仕事をしているのに、給料は男性より少なく、この先結婚して両立することに自信が持てないのが実情です。(30代 女性)

男性の物差しで女性の評価を行っている事が多いと思います。業務について適性を重視して評価すべきだ。

ある事例であるが、育児中にやたら残業を行わせた。決して行ってはならないと思う。(60代 男性) 行政がもっと強く会社に対して指導できたら、パワハラ・退職の強要に負けず仕事が続けられたかも …。収入がなくて、先の不安な生活のことを考えて「もし子どもを産まなかったら…」なんて思わな くて良かったのかもしれない。(30代 女性)

女性の負担が、家事・育児・教育等の面でとても大きく、社会での能力発揮に至らない面が多々ある と思います。

諸外国と比べて、男性の家事・育児に関わる時間はおそろしく短く、子どもはほとんど女性に任されているのが現状です。

政治や経済においても女性の視点は、男性にないものがあり、女性と男性の視点を合わせて進めていくことが、県政をよりよいものにしていく力になると思います。そのためには男性の積極的な家事・育児参加や政策面で働く女性の支えとなるような柔軟な施策と、企業の働く女性の子育てに対する理解と具体的な支援、それを支える県政の資金面での援助なり…が必要だと思います。また、各職場での(男性は特に)研修も欠かせないと思います。(40代 女性)

男女雇用機会均等法を知らない企業があり、女性はいまだ掃除・お茶汲みをさせられている。本来の 職務に支障をきたす。

経営者講習会を充実させ周知させるべきだと思う。(40代 女性)

もっと女性が働きやすい環境にしてほしい。

子どもができるとつわりや、つらい時にも、男性や経験したことのない女性は、つらさを分かってくれず、働きづらい。休みも取りづらいし、産休も取りづらい。(20代 女性)

子どもが小さい時期は、特に母親が必要だと思います。

病児保育も必要だとは思いますが、親が休暇を取りやすいようにもしてほしいです。

「男女共同参画社会」というのが、今ひとつよく分からないのですが、幼い子ども達にしわ寄せがあるのでは…と思ってしまいます。(40代 女性)

男女ともに仕事を持っていて、自分の仕事にプライドを持ちながら頑張っていますが、現実問題子育てをしながら仕事をしていくなかで、個の問題にしてしまうことがある。

障害を持つ子を療育園等に通園するため、休みのシフト等を組む時、個人的都合は 100%叶わないことは理解するが、上司等から「子どものことだから何でも通ると思っているから…困る」(女性) などと嫌み的な言葉を向けられ、子どもが病気等によって休暇願いを申し入れする時等気遣いしながら休む。休むのは女性が大半。子どものことを一番考えるのは親、その子のことを守り育てられる環境・企業・社会を望む。現実はそうでなく、個が抱えている。(50代 女性)

職場内における理解はまだまだ不十分。

子どもの病気や介護等では、女性が休みをとる場合が非常に多い。その場合の職場の理解は、なかなかされていない。この不景気で、特にその傾向は強い。

まだまだ、経営者の理解は難しいと思われる。(40代 女性)

仕事と家庭と育児に毎日追われ、とてもいきいきと生活していく余裕がない。

現実、有給休暇が非常に取りづらい。もっと取得できるよう経営者に理解していただきたい。

(30代 女性)

女性が働きに出て、子どもを放りっぱなしにすることは、許し難い。子どもに愛情をいっぱい与えながら働いてほしい。(60代 女性)

子育て世代の異性は、年齢的にも会社での仕事量の多いこともあり、家庭での育児・家事参加が出来 ない現実があります。

家事は、仕事をしていない人がするのも理解できますが、成果が目に見えないので達成感もなくつらいです。

お互いが、もっと理解し合い、お互いの仕事や家事について認め、尊重しあっていけたら、行動にも伴うし、いきいきとした毎日になると思います。

そのためにも、企業ももっと時間短縮など具体的な対策をしてほしいです。(30代 女性)

テレビでやってました。広島のように、強制的に父親休暇を取らなければ、発展はしないと思います。 (60代 女性)

もっと女性が働きやすく、子育てしやすい社会になってほしいと思います。

例えば、北欧のように、介護や子育て(男性の育児休暇取得など)に理解のある社会になってほしい と思います。(60代 女性)

外での仕事に対しては、男女の差は無い時代になったと思っています。(70代 女性)

男性であろうが女性であろうが、同じ人間、周りの人が何と言おうと、我が家ではお互いが支えあい、助け合っていかないと生活できません。

でもやはり、子どもが熱を出して仕事を休まないといけない時に、夫が「お前が休むべきだろ」という考えを持っていたり、夫の職場の人が「奥さんは何をしているんだ」といった考えがあり、子どもが熱を出して仕事を休むのは母親の方がよい(女性の方がよい)といった考え方があるのだと思いました。

父親でも母親でも、休める方が休みを取ったらよいと思います。男はこうあるべきだ、女はこうあるべきだという認識は、根強く残っていると思います。(30代 女性)

私が勤めている会社 (パート) は休みも、日曜・休日のみです。有給もなく、雇用保険もありません (男性正社員のみあり)。(50代 女性)

仕事が忙しすぎて、家事に協力したくても出来ない現状にある。(50代 男性)

結婚のため地元を離れ、仕事も辞め、新たに仕事を探そうと面接に行くと、「子どもがいずれ出来ますよね?」「子どもをつくるのはいつと決めていますか?」「前に辞めた人は、小さなお子さんがいて、保育園からよく連絡が来て帰ってしまう」というのを言われたり、聞いたりして、すごく働きづらい環境にあるんだなと思った。

今は子どもが小さいため、働くことは考えていませんが、いずれは働くつもりでいます。ですが、保育園も"待ち"が多いと聞きますし、仕事先もこのように子育て・育児に協力的でないとこの先が不安です。

仕事、育児、家庭と両立するのはなかなか難しいです。

私に面接をした、心ない言葉を言う人は男性の方でした。

男性がどれだけ女性が大変なのかを分かっていないと思う。(20代 女性)

仕事を持ち、子育てをしている家庭は、経済的に困窮しているから、女性も子育てに集中できないのであって、公務員のように育児休暇を当たり前のように取るのは、民間では通用しないのです。

もっと公務員のように、優遇(経済的制度)されれば、子どもを産もうかと思いますが、今のままでは、お先真っ暗だと思います。(40代 男性)

大企業等では理解がされ、色々な場面において男女平等が実施されているようですが、我々の住む所、 小企業では、とてもとても何年かかろうと無理だと思います。(60代 女性)

家庭でも職場でも、コミュニケーションが大切だと思います。その事が男女ともに個性と能力を発揮できるのではと感じます。

昔と違って女性にも仕事がしやすい環境になっているのではと思います。(50代 女性)

鳥取県男女共同参画推進条例が制定された後(平成 19 年)不当な理由(女性ではダメ)で、採用内示を変更されたことがある。正式に辞令の出される前日であった。

口頭や文書でいくら「男女共同参画」といっても、現実には…。どんなにすばらしい条例でも、結局はどうにもならないと諦めています。期待はしていません。(30代 女性)

民間の会社において、いかに休暇を取りやすくするかが問題だと思います。公務員は、休暇が取りやすいから良いと思いますが、まずは民間の会社をどうするかだと思います。(40代 男性)

職種にもよるが、子育て介護が必要な期間だけでも、仕事に従事する期間をフレキシブルに設定できるといいと思う。例えば、始業時間を少し遅らせるとか、終業時間を早くするとか、家族の状況に合わせて変更できると働きやすくなると思われる。(50代 女性)

結婚して子どもができると、男女平等とは言っても、女性の家事や子育ての負担が大きくなり、仕事を続けていくことが大変になります。仕事を続けたいと思っていても、周りに手助けをしてくれる人がいないとなかなか続けられません。私の場合、2人目ができ、主人の転勤もあり、仕事を辞めてしまいました。子どもが幼稚園に行き始めてからパートを始めましたが、子ども中心の生活を考え、なかなかフルタイムで仕事することができませんでした。現在仕事をしていなくて、家事と育児に専念していますが、子どもが、小学生になったので、そろそろ仕事を始めたいなと思っています。

## (30代 女性)

娘の職場のことですが、まだ子どもが小さいのがいる事を知っているのに、遅くまで残業させられ、子どもと向き合う時間は、朝の少しの間だけで、後は家にいる妻が全部しなければならず、その会社は、作業のことだけで、家庭のこと等分かってくれないので、そういうことも、考えてほしいと思います。(60代 男性)

男性が家庭や地域の用事に、もっと気軽に参加できるように。(休みが取りやすいような社会に) (30代 女性)

少子化が進む中、子育ての中では食育や、父親の育児参加することや家庭の大切さなどが言われていますが、実際には生活していく上では経済的なことから働くことが必要であり、母親が家庭にいても父親は帰りが遅い家庭が実際には多いと思います。父親も早く帰って、子育てに参加・協力したくてもできないという葛藤があるように感じます。例えば、小学校になるまでの子どもがいる家庭の親は、要望すれば、短縮勤務ができる制度の充実などが必要に感じます。社会のバックアップが必要と思います。(個人が早く帰れるよう努力することも必要ですが)(30代 女性)

男性の職場では、なかなか育児休暇・介護休暇など取得できない。制度など公務員などから変えていかないと実現しない。(30代 男性)

どうしても女性は、家庭ができるとそちらが中心になってしまう。働かなくても、生活できれば、私自身、家庭に入っていたいがそうもいかないので仕事と両立しているが、他の人でも家庭・学校行事などで休む事への抵抗があり(実際休みにくい)、とても平等だとはいえないし、社会的にもまだまだだと思う。

仕事と家庭に気兼ねなく両立していける社会になれば、もっともっと生活していてもストレスにならなくなると思う。(40代 女性)

男女区別することなく、働ける環境を作ることは必要だと思うが、当然ながら男性を主としている職場、また女性が主とされている職場があることを理解し、その男性的な要素を必要とする職場、女性的な事業を必要とする職場に、無理に男女を就業させることで互いに仕事をしにくくしてしまう環境もあるのではないかと思う。(20代 男性)

非正規労働者をなくし、短時間でも正職員として採用することを進めること。(30代 女性)

男子と女子の性別はあります。この事実をしっかり認識することが大切です。男性の立場として、このことをよく理解しています。

しかし、仕事では、男女ともビジネスパートナーとして、仕事時間は同じ仕事量を女性の方もこなしてしまう必要はあると思います。仕事は向上心が大切ですから、その思いを女性にも持っていただき「ともに高めあう」ビジネスパートナーとして活躍できたらと思います。(30代 男性)

労働時間の見直し、暗黙の残業はいらない。(30代 女性)

自分より能力が劣るのに、男というだけで賃金面で優遇されている。腹が立つ。(50代 女性)

私の職場は、男性が約85%の割合です。男性社会といってもいいでしょう。

男性の管理職が多く、ワケの分からない古い頭の方が多く、私達も振り回されます。

実は課長になり5年ぐらいになりますが、会社が残業代を払いたくない、そんな人事にしかみえません。まだまだ、私達の生きがいは働かせていただいているという意識をもっていなければいけないのでしょうか。少し悲しいような気がしてなりません。(50代 女性)

男女平等も大事だと思いますが、平等を云うのなら職業別差別、それによる賃金の差別の方が問題だと思います。

人にはそれぞれ個性があり、男性でも女性に適した仕事を好む人、男性と肩を並べてバリバリ男性的な仕事のできる女性と色々です。男女ともに、自分に適した仕事でその能力を発揮できる場所を与えられる世の中こそが平等な社会だと思います。

しかし、生計を立てるためには低賃金でも職業を選んでいるゆとりのない人も沢山いるのが現状です。ですから、職業による賃金差別をなくし、皆が納得できる報酬を得られれば仕事にも励みが出来、意欲も沸き、男女平等の考え方も変わってくるのではないかと期待しています。(60代 女性)

私達の年代では男女共同参画という言葉は分かっていても、完全実現は少し難しいところがあるように感じます。が、今の若い年代の方は、夫婦理解あって、理想の姿へと進んでいるように感じています。私の職場でも、共同参画は取り入れ頑張っているところです。(職場は福祉サービスです) (60代 女性)

男女平等といっても結局男と女は平等にはできないと思う。

男の人と一緒になって働く事ができる女の人は、家庭を持たない人だと思います。子どもができれば 男性と同じ様には働けない。病気になれば、仕事を休んで看護・学校行事に参加などやはり女性はそ ういう事で男性と対等には働けません。

会社側も、男性がそういうことで休むとやはり風当たりがきつくなると思います。(30代 女性)

自身の職場はとても働きやすい(独身だからかもしれないが)。例えば、時間単位で有休が取れる制度があったりするので、参観日等、お子さんをお持ちの方は利用されるそうだ。また、水曜は残業しない日と定められていて、職員は有効に使っている。

就業形態を工夫すれば、男女ともに働きやすくなると思う。(20代 女性)

# 5 子育て、介護について(25件)

子どもが少なく、年寄りが増える。この現状が、きれい事を言っていても、自分や家族には当てはまるのかどうかわからない。平等もわかるけど、それでもいいのかさえわからない。

男の仕事、女のあるべき、するべき事。子ども達が一番大切だと思います。

子ども達がのびのび育つまちづくりの方が私には大事に思えて仕方ありません。(30代 女性)

昔のように、父が働き母が家庭を守る方が、切れやすい子どもを少なくするのでは?

共働きで頑張れば頑張るほど、子どもに対する愛情が薄くなるのでは?

疲れてストレスばかりだと、子どもの話もろくに聞いてあげられない気がします。

母子家庭なら尚更、働けば働くほど、税金や保険が上がり働き続けなくてはいけなくなります。学校 行事、子どもの勉強、遊びに参加するのが、体的にも辛い時があります。(30代 女性)

家庭のある人は、子どものことをしっかりみてください。母親の愛情が大切だと思います。

(70 代 女性)

女性(母親)が外へ外へ(仕事など)の風潮が、少なからず子どもの成長時に、成すべき事を出来なくしていると思う。次世代を育てることは、人類のため(オーバーではありません)大切な仕事です。 それを強調すべきです。そしてサポートすべきです。

古いと思う人もいるけど…、でも違う!!(50代 女性)

男女平等は確かに大事なことですが、やはり基本は「男は外で働き、女は家を守る」ということだと 思うのです。でも、色々な家庭の事情で共働きをせざるを得ないのは、仕方がありませんが、ただ家 にいるのは無理でお仕事をされている方は、気持ちを改めていただけたら良いと思うのです。

私は最近、家庭内での事件が起こるのは、やはり、昔ながらの部分の考えがずれて来ているからだと 思うのです。それが、子どもに伝わり、恐ろしいことに発展しているような気がします。

世のお母様に私は言いたいのです。女性に生まれた以上は、子どもをしっかり育てて、家庭を守る意識を持ちなさいとね。この意識を持って社会に出る人と、家にいたくないからと社会に出るのは大違いなんです。社会的地位の男女平等を望むのは、後者のほうだと思うのです。

女は女の役割りがそれぞれきちんとできた上で、社会での男女平等は考えるべきではないでしょうか。(40代 女性)

育児の実態を見ると、女性に大きな負担がかかっており、それが結果的に女性の社会生活への参加を 阻止している。

男性も育児を協力できるよう、企業などでの教育を徹底する。(60代 女性)

社会の中で働く人中心の考え方でまわそうとする姿勢をいつも感じている。

子ども中心、老人中心の考え方で、そこを大切にできる社会になればいいと思う。

社会的に弱い立場(子ども、老人)にいると、仕事のかたわら忙しい時間を割いて世話をしてもらっていると感じることは、すごく精神的に負担だと思う。

その期間仕事を辞めて関わる価値は充分にあると思う。今まで社会を支えて下さった大切な方々、これからの社会を作っていく大切な子ども。一番大切にしていかないといけないと思う。働くことは、生きていくため必要だが、まわりの人を大切にすることもとても大切だと思う。そういう価値観を子どもに伝えたい。(30代 女性)

男女に限らず個人が個性と能力を発揮していくためには、幼少時からの教育と躾が肝心である。小さい子どもに対する親や、祖父母の言葉を聞く限り、男女の役割が固定されて未来の可能性を狭めている地方だと思う。

介護に対しては、家庭や親戚への期待が多大で、プロがいないのかもしれないが、プロに任せるところは任せる、という切り分けが出来ていないように思う。

全体的に個人の世界に閉じこもっていて、視野がせまい。(30代 女性)

子どもが少なくなったことが、結果的に、様々な良くない状況を生み出してしまっているように感じます。男女が協力して、働いていくためにも、慣習や意識の改革はもちろんのこと、安心して子どもを産み、育てられる社会が実現されないといけないと思います。

鳥取を元気に、住みやすい町に、ますます盛り上げて行きたいと思います。(40代 男性)

現在の日本が男女対等な社会であるかどうかと考える時、母子家庭の現状を見ると、甚だ疑問をもちます。女性が選んでシングルマザーになったとしても、仕方なしになったたとしても、その現実は経済的に厳しいし、社会が冷たいような気がします。

自分の子どものことではないとか、自分の孫のことではないとか言わずに、子どもは皆「社会の宝」であるという考えに立ち、社会全体で、子どもがいる家庭や母子家庭を援助していく事がこれからますます必要となるだろうと思います。

子どもがのびのびと健康に生きていける社会をつくることが男女共同参画社会を実現することに通じると思います。(60代 女性)

子育ては愛情を持って、家族でコミュニケーションが大切。

親は子どもの前で愚痴らない。 <人は涙の数だけ強くなれる>好きな歌の文句です。 (50代 女性)

子どもが小学生くらいまでは、母親が子育てをしてほしい。子どもは未来の大人となる。たっぷりの 愛情をかけ、教育(道徳・食育など親が教えるもの)してほしい。そのためには、社会全体が権利ば かり主張せず、各々自分の義務を果たしていくことが大事ではなかろうか。

母親、女の人が、なぜ子どもを産めるのか、肉体的にも精神的にも子育てにおいて、とっても大事な国を左右する仕事だと思う。みんなで子どもを育てるために、多くのすることがあるだろう。(40 代女性)

親の介護が必要なため、やむを得ず仕事を辞め、家庭で介護をする独身(結婚も出来ない)者がいる。 相談窓口もわからず…身近かで事情のわかる世話人がいれば、世間から遠ざかる事なく仕事にも復帰 できるような誰もが平等に助け合い、安心して仕事ができるような世の中にしたい。(60代 女性)

介護制度の面でも、ひとり暮らしの老人のお世話など、男性も積極的に参画できる場所を作ってもらいたいと思います。(50代 女性)

昔から、子どもを育てる役割は決まっています。

父親は厳しく母親は優しく、子どもを包み込むこのバランスがくずれたために、子どもが曲がって育っているように思います。男女平等になることはいいのでしょうがバランスが問題だと思います。父親が怖くなくなるような家庭内のバランスはいかがなものかと思います。父親が台所に立ち、洗濯物を干し家庭を守る生活は、バランスが悪いことだと思います。

子どもを産むのは母親でなければできません。これは、昔も今も変わらない、変えられない事なのです。この事にすべての意味があるように思います。

働きやすくするためにどうするのではなく、産み育てるためにはどうしたらよいのかと検討していただきたいと思います。(40代 女性)

介護でとても苦労しているので男も協力してほしい。(60代 女性)

女性は出産がある以上(とても大切なことだと思います)、社会進出に関しては男女平等はとても難しいことだと思います。

(子育て、) 特に介護のサポートがあれば、ワークライフバランスがとれて女性も仕事がしやすくなると思います。(50代 女性)

以前に比べて、職場や地域での女性の活躍の場は増えたと思いますが、子育てや介護には、まだまだ女性の手が必要という考えが主流です。年配者だけではなく、若者の意識も変えていくべきだと思います。(男性は働いて、女性は仕事と家庭の両立!?不平等です!!)(30代 女性)

改善されつつありますが、まだまだ女性負担が強いられている社会だと思います。私は子育てと、実父の介護を経験し、他の家庭以上に夫の協力があったと感謝していますが、この「子育て」と「介護」に多くの女性が仕事を辞めざるを得ないのが現状ではないでしょうか。(仕事があるからと  $10 \, \mathrm{rf}$  月の子どもを保育園でみてもらい、 $1 \, \mathrm{r}$  たなったからと、夜勤が義務的に始まった頃はとても辛かったです。育児休暇中は、仕事ができる夫がうらやましかったのに…)(介護の時は娘が面倒みるのが当たり前という風な実父に悩まされました。亡くなってしまいましたが…。)

しかし、色々な事情はあると思いますが、女性も仕事があるからと早期に入所を選択している高齢者の家族が多いように思います。もっと方法はないのでしょうか。少しでも長く家族の一員として家で暮らせる方法が…。田舎では、介護サービスも限られています。(40代 女性)

ともに協力しあい、ともに高齢者の介護が必要な時は仕事を休んででも見てあげられる様な配慮を。 お互いが交代で現実はとても生活が苦しくなるし、不安にもなりますので地域になんでも相談に乗っ てくれる人がいれば安心です。(50代 女性)

現在 93 才の姑を介護していますが、デイサービスを利用しながら看ています。この年代の人は、歳をとって寝たきりでも入所は老人ホームという感じが抜けきれず、家で過ごしたいと言っています。 (60代 女性)

意見は山ほど言いたいが、現状は身内2人の介護に追われて文書にとらわれる時間がない。 (60代 男性)

介護する人される人、ともに老齢化しつつこの頃。やはり、ヘルパー施設の重要性。 少子化になり、一人の子どもに親4人の時代もすぐそこに。(60代 女性)

「男女平等」を提唱していても、現実は、男性優位である。給料面からして、職選びの幅が狭い。不 景気のため、共働きは仕方ない。夫婦間、話し合い、家事分担するにしても、女性の負担が大きいの が現実。特に子育て、介護。そのため、育児ノイローゼなどに陥ると思う。女性のストレス解消の場 が必要。(20代 女性)

うちは主人が自営業なので、主人が仕事を休むと収入に響きます。なので昼間は、私独りで育児をしなければなりません。今、5ヶ月の双子の育児中です。家にいる時は子どもの事を積極的に手伝ってくれますが、手の足りない時や、助けてほしい時もありますが、主人には言えません。ファミサポ利用などもありますが、知らない他人に大事な子を預けるのは少し抵抗があり、利用していません。自営業でも少しの時間でいいので、安心して時間を作れるようにできたらいいなと思います。

あと、双子用横型ベビーカーを使用していますが、スーパーのレジが通れなかったり、入り口が狭く入れなかったり、歩道が狭かったりで、行動が限られてしまいます。独り孤立した気分になります。一人用ベビーカーなら通れるのに。双子は注目度が高いのに、認知度が低いので、悲しくなります。車椅子、介護犬などの利用は進んでいるのに、双子用ベビーカーはダメなのでしょうか。ちなみに、たて型双子用ベビーカーもありますが、たてが長く、広い店内でないと使用できません。

(30代 女性)

# 6 行政に対する意見と要望(47件)

女性が自分の子どもをしっかり育てられる(安心)状況は最悪です。子育てが終わって再就職しよう と思っても保育園の受け皿はいっぱいで、入れない状況です。

保育園(公立)が空いていても、0歳児の受入は少ないようです。もっとニーズにあった子育て支援が求められるのではないでしょうか。

社会(地域)で、保育園に預けることが出来ない家庭の親子の不安や悩み等、地域で支えられるようなネットワークもどんどん作ってもらえたら助かるのではないかと思います。(50代 女性)

鳥取県は女性の就業率が非常に高いと聞いている。それを踏まえて、女性への支援を具体的に進めるような事業(施策)を実施してください。(40代 女性)

勤務先の上司または経営者の方が理解していないと、県の方がいくら頑張っておられても、しっかり と指導を行われないと成果は上がらないと思います。(50代 女性)

母子家庭のこと、これがあるので離婚が多い。我慢することを知らない。

父子家庭をもう少し考えてほしい。

私は息子が離婚して、孫を自分の子どもと思い育ててきました。63歳になっても、孫のため苦労しています。息子は蒸発して15年、孫は18歳で夜間学校に通っています。(60代 女性)

母子家庭の支援の充実。(40代 男性)

男女に関わらず、個人のやりたい事、能力を発揮しやすい環境づくりを支援してほしい。具体性のない意見でしたが、例えば、

- ・学習したいグループの集まる会場使用料金の援助 ・芸事であれば、指導者への御礼金の援助
- ・習い事であれば、材料費等の援助(60代 男性)

もっと、出産か子育てに支援をしてほしい。(20代 男性)

結婚して 40 年近くになりますが、結婚前には思っても見なかった仕事、家事・育児の両立の重さは、 なんと最大限に重かった事か。仕事を辞めたらと思うのですが、それでは家計が苦しく、せめて人並 みの生活をしたいと今まで頑張ってきました。

家事、育児など、男女平等に考えても、一般的に企業は男性中心が多いように思います。男性が家庭の中で休みづらい環境があると思います。

公の機関が、企業なり施設に指導強化されたら、少しは違ってくるのではないかと思います。

## (50代 女性)

公務員の男性も子どもが小さければ、超勤せずに帰宅し、育児家事を行ったり、育休をとるなどしていくと民間の男性も育休を取りやすくなると思う。

- ・夫婦別姓の実現 ・保育園と幼稚園をミックスしたような施設を増やしてほしい
- ・学童保育の充実(30代 女性)

父子家庭の友人がいますが、母子家庭に比べ、手当などが少ないと言っていました。この友人は、子 どもを自分の親に任せっきりにしないで、自分ができる範囲ですが、子どもを育てています。

父子家庭も、母子家庭と同じひとり親家族として、もう少し考えて下さい。(30代 女性)

県政だより7月号にちらっと載っていたが、もっとページを割いて色々と啓発してほしい。「よりん彩」があるのも知らなかった。(70代 男性)

子どもは社会全体で育てていくものだという観点で、女性が出産し、育児をしながら、仕事を続けられるシステムを行政で作ってください。

社会の中で「役に立っている」ことは生きていく支えです。「役に立つ」ということが収入になり、 一人一人が自立できる社会になるといいと思います。(50代 女性)

鳥取県でも、議会、県職員の特に管理職については、男性が絶対的に多く、それは各市町村も同じです。生活の保障や、色々な制度が、他の民間企業に比べて、しっかりしている行政でも、なぜここまで差がはっきりしているのかと思います。例えば採用の比率は、過去からどう変化したのか、これからどうするのかなど、具体的な変化が、行政に見えないと、他に変化は現れにくいと思います。

### (40代 女性)

まだまだ鳥取県は全体的に収入が少なく(全国的に)、女性の就労が縁の下の力持ちで家計を支えているけれど、現実は核家族で、子育てをしていく中でなかなか休みづらい(民間)です。インフルエンザ等と長期間になると、肩身が狭い思いをしながら頑張っている。少しずつ預けられる場所も出来、少々良くなってきていますが、良くなることを行政に望むところです。(50代 女性)

女性が働こうと思った時、子育てと介護の負担はとても大きく、仕事を持つ女性には大きな負担となっています。

保育園でも熱が少しでもあれば、保育園ではみてもらえません。少々のことなら見てもらえるような、 そんな保育園ならいいのにと娘とよく話します。(50代 女性)

友人から聞いたこと…集合住宅の設計を、間取り、網戸の位置等で、家事がやりにくいところがある。 これらは、男性の管理職等の目線で「設計」あるいは「許可」を与える立場で考えられているのでは ないか。女性(主婦)の立場で設計を考えてほしい。

公的施設の名前が、やや時代遅れのネーミングがついているのをよく見聞きする。これらも、年齢の 上の管理職が付けたのではないかと思わされたりする。女性の柔軟な意見を聞いてほしい。

#### (50代 女性)

女性が男性と同等の扱いにできるためには、女性特有の「子どもを産み、育てる」ことを一番に考え、 この期間をどう取扱い、社会的にもどうすべきか考える必要がある。

介護・家事については、男性が理解し協力すれば何とかなるが、子どもは産めないし、乳も出ない。 少子化対策も妊娠中、出産後の保障(会社上も含め)を考えていかないといけない。企業も長期間休 まれている時には、当然仕事が出来ないので、男性に比べ評価も下げざるを得ない。この点を企業側 が充分理解し、特別な配慮を行わなければ、いつまで経っても、女性の立場が向上しない。

まず、県、市町村が率先して目に見える形で考え方・方向性を示して行くことが大事と考える。

(50代 男性)

我が家は夫婦ともに夜勤のあるシフト勤務で、お互いが家にいない事も多々あります。今まではそれで良かったのですが、やはり子どもができると、預け先の事など不安があります。

24 時間保育が可能な施設(保育所)の充実をお願いします。(30代 女性)

単に男女共同参画の啓発にとどまるのではなく、女性の採用比率や管理職登用比率を制度として確立 することを徹底すべきである。(60代 男性)

個性の尊重。休日夜間の相談箇所の増大・充実。

出産、育児に関する女性負担の軽減、及び、再就職への支援。(30代 女性)

女性が子育てから社会に復帰するには、保育園、幼稚園の整備が必要。また、子育てをしながら個性 と能力を発揮するためには、子育てに関する手当も増やす。(30代 男性)

子育て支援に関して、残業など急な予定変更があった時の「延長保育」や「休日保育」は是非やってほしい。

米子は保育園が足りないのではないでしょうか。我が家の場合、第一希望の保育園は僅か 100mの所にあるのに、そこにはいけず、結局、第四希望の保育園に行かされているような状況です。(8 k m) (50 代 男性)

子どもを安心して預ける保育所。(60代 男性)

男女共同参画推進条例、男女共同参画センター等の認識が一般的に薄いと感じている。

男性に比べて女性の社会参加の機会は少ないためと思うが、その原因は家庭における女性の負担が多いことによる。(ただ、子育てに必要な時期は母親は家庭にいるべきだと思うが。)女性の社会生活との関わりを深くするためには、子育てに心配のない環境ができてから発展するのであって、現状はまだ。

保育・介護等の社会資源の充実を願う。(60代 男性)

色々な情報、パンフレット等も必要とは思いますが、それくらいでは何も変わらないと思います。

人間って、少々不便、不満なことがあっても、ほんの少しの努力で良くなるとわかっていても、不満な今を変えることを嫌う人がほとんど。今のままが一番楽なのですから。

そのような考えを変えるためには、まず、県の職員が変わることと、行政の思い切った手段も大切なのではと思います。同じ予算を使うなら、有効に使ってほしいと思います。

一般の人には、男女共同参画センターの人が、どんなことをしているのか目にみえません。もっと、体と足を使って活動してほしいと思います。(50代 女性)

県外では給料が高いので、能力がある女性や社会に貢献できる女性は時間を惜しんで働いてもらいたい。しかし、鳥取県は他県と比べてあまりに給料が安いので、女性が働かざるを得ないのが現状であると思います。幸か不幸か、残念ながらそれで鳥取県の女性は他県より"しっかり者"が多いと言われているのです。正直、2人(夫婦)の給料を足したものが他県の一人の給料の額くらいなのです。行政として給料を上げる能力がないのなら、女性が働く環境をばっちり整備してください。よろしくお願いします。(50代 女性)

学校で教育する。企業で積極的に取り組む。家庭にも情報等を配る。(60代 男性)

女性が保育や介護のために仕事を辞める事のないよう、一時預かりや延長保育(介護)等を充実させることを望みます。(20代 女性)

国や自治体が率先して有能な人材を育成登用し、特に、女性についてこのことを実践してほしい。天 然資源の乏しいといわれる日本は、人材こそが資源である。

人材の養成は、日本の宝の山を築くことではないかと思う。(80代 性別不明)

男は仕事女は家庭という考えのもとに、家事・育児は一切妻に押しつけ、一方夫は仕事仕事の会社人間という、いわゆる古い慣習を捨てきれない世代も、もう 60 歳代となり、男女共同参画の意識はどんどん進んでいる気がしますが、ほんとうに正しく意識改革されていかないと、平等とか協力とかを、お互いの責任逃れの道具に使われかねない(過渡期には起こりうる?と言うか既に起きている)のではと危惧しています。

その辺をしっかりフォローした男女共同参画推進をお願いします。(50代 女性)

広報が不足している。(60代 男性)

男女・年齢・健康を問わず、働きたい者が働ける場、多様な働き方ができる社会が実現するよう行政の取組に期待したい。(60代 女性)

学校教育の場で、積極的に学習するようにする。職場では、なかなか学習できない。

研修の場を与えられない。リターン研修の場を。(50代 男性)

鳥取は共働きの方が多いですが、決して働きやすい環境だから働いているのではなく、働かないと生活できないから共働きをしているのが現状です。

県や市が県外から誘致した企業では契約社員でしかも低賃金。独身の方は結婚したくてもできないし、結婚した人も長時間労働のため短期間で辞めざるを得ない状況と聞いています。男女ともに夢や希望を持ち、自然の中でのびのびと子育て、家事育児介護にがんばれる鳥取県になるよう、お仕事がんばっていただきたいです。(30代 女性)

男女共同参画の問題は、昭和 20 年から始まっていたことを初めて知りましたが、行政としては多方面にわたるこの問題の法的・機構的・設備等の整備が着々と進められていることがWEB サイト上でよく理解できました。しかし、一般の県民は、まだまだ理解が浅く、ほとんどの人が知るところとはなっていないようです。今後は、一人でも多くの人に周知徹底する事が重要であると思います。

また、男女平等に関する件は、長期的な展望に立って幼児・学童期の子どもに学校教育を徹底することと、家庭における我が子に対する家庭教育の充実にあるのではないかと思います。このことは、現在の親を教育する必要が重要であり、そのための行政・自治会等からの資料配布や研修の場の充実を今まで以上に図っていく必要があるように思います。したがって、10年・20年を要する長期的で重要な問題であることは明らかであると思っています。

学校教育では「道徳教育」の大半を男女平等を加えた教育に(小学生)する等を試みてはいかがでしょうか。(60代 男性)

女性にも、生まれ持った優れた能力があります。それを社会に出て存分に発揮できるよう、幅広い職種での雇用と賃金面でのサポート等に力を入れていただきたく思います。(20代 男性)

役所に出入りしておりますが (日常ではありませんが)、管理職は歴然と男性が多く、また、臨職の 方がお茶の用意もなさっております。県においても、特に市は著しいようです。これでは民間に説得 力がありません。

どのような環境・職場においても、能力・意欲の有る方は、評価を受けるべきです。ただし、ご自身及び周囲の方が、得心・納得により、自ら向かわれるものだと思います。全く同様なのかも知れませんが。現在のたまに見聞きする本業は、いささかお節介じゃないかと感じています。やはり経済的に安定するように、官は努めて下さい。「住食足りて礼節を知る」のたとえも有るように、具体的に県民所得の向上を目指し、保育・介護など、目に見える形で成果を県民に示して下さい。

人権問題において「寝た子は起こすな」は誤った考えだとは思います。たし、本業については、いささかおせっかいで他により高い優先すべきものが有るのではないでしょうか。DV対策は評価させていただきます。このように形に出した施策をお願いします。リーフレット、パンフはややもすれば無駄遣いで効果がないと思います。論より目に見える事業をしてください。(50代 男性)

地域のボランティアをしていると、いわゆる公務員の参加が少ない。県民・市民の生活を守り、「いきいきと個性と能力を発揮」の推進を公務員として本当に考えているのであれば、週に一度くらいはボランティア活動をしてほしい。住民の中に入って身体で問題を考えてほしい。アンケートをまとめても、問題の解決にはならない。週休2日、年休のある公務員に、土日無し、その上地域で頑張っている住民の気持ちは永遠に解らないのではないかと感じている。(50代 男性)

田舎に残る昔からの慣習や常識は、すぐに改めることは難しいと思います。男のくせに、女のくせに、あそこの家は…等の意識は根強く残っています。

焦らず、ゆっくり、男女平等へ向けての啓発事業をされても良いと思いますよ。形式だけがひとり歩きをしてしまわない様、地域に合った参画をこれからもよろしくお願いします。(50代 女性)

子育ての面で、発達障害に対するサポート、各幼・保・小学校と理解を得る講演等を増やしてもらいたいです (エール等)。中学、高校の生徒の親は、困っている方もおられます。(40代 女性)

行政の立場では「相手の気持ちを察する」ようにしていってもらいたい。(60代 女性)

理念や理想はなんとなく理解できるのだが、また、現在各所で行われている取り組みについても、大切なことなんだろうと…。ただし、よく判らないのが、そうすることでどういうメリットがあるのか?生活にどんな良いことがあるのか?今々、余裕の無いものにとって何か得る物があるのか…ということ。

税制優遇があるとか、○○ポイントが付くとかの即物的なものか、人脈が広がる、信頼が高まり、人間としての魅力が増すとかの副産的なもの、その中間にあるような何か具体的なメリットも行政サイドで準備できないものでしょうか。例えば、参加ポイントを貯めて、県施設利用券がもらえるとか、検定、マイスター制で特使として収入も得る仕事を与えられるとか、家族の協力への見返りとなる。家族向けの特例が与えられるとか…。(40代 男性)

男がひとりで子育てをしている場合、母子家庭に対する行政支援と同じ支援を、男の場合もしてほしい

生活保護の支給金額の平等など…。(40代 男性)

生活基盤がないと、いきいきした姿にはならないと思うので、低所得者に対しての配慮がほしいと思います。(60代 女性)

共同参画は、言葉では良く聞こえるが、職業を持って母ひとりで子育てに何かの手当が支給されますが、男ひとりで子育てには何の支援もありません。男女とも、子育てには差別はないと思います。他 県では、父子手当も考えなくてはと話もあります。本県でもそのような考え、お願いいたします。 (60代 男性)

派遣・臨時職員等の就業制度を無くし、完全雇用形態確保を行うことにより、男女共同参画に向けた 企業組織となるよう指導してください。(50代 男性)

男女が共同で参加できる、ボランティアを計画する事も。

問19の1〔よりん彩による情報収集と提供〕を充実させることを希望する。(70代 男性)

# 7 アンケート調査に関して(6件)

調査票が一世帯に2通いるのではないか。

問 13 [DV被害の経験] について、被害者が妻の場合はどうするのですか? (40 才 女性)

男女共同参画、ジェンダーフリーに関しては賛成できません。

このようなアンケートの狙いが理解できません。(50代 女性)

男女平等を進めていくことが悪いとは思わないが、「男女平等を進めていくことがいいことだ」という考えありきのアンケートであるような気がする。(30代 男性)

このアンケートはもう少し答えやすいようにすべき。(50代 女性)

問4 [家事などの分担] について、一緒に暮らしてはいるが、生活時間が違うため、自分の事は自分でするが、家族の事は他の家族がやっている。選択肢が少ない。(20代 女性)

選択項目が多いが、これを集計してどうするつもりなのか意図がわからない。たとえ少数意見で有っても、本人にとっては最重要だと思うことがあると思う。

仮に集計して上位から今後の対策を考える等という事自体がナンセンスで、多数、少数意見だから重要・不要な事は無いと考える。

よりん彩とか、鳥取県男女共同参画推進条例がどういうもので、県民のどれだけが知っているのだろうか? (50代 男性)

### 8 その他の意見(36件)

鳥取には何もない!

休みに子ども(家族)を連れて行く処がない→県外に行く→産業がない(40代 男性)

家庭を持つ人は幸福な家庭を作る、同じ目的で、男性もできることを助け合って行う。

家庭を持たない人は仕事と趣味を持つこと。外に出れば、友人関係も広がります。(70代 女性)

仕事がしたくても能力がない。能力を付けるためのお金もない。

年齢的にも、働くことが出来ないのであろうか。早く仕事がしたい。(40代 女性)

最近、自己主張だけして何もしない人が多い。事件があればすぐに、アニメゲームなどの悪影響など と責任転嫁で誰も真剣に事件のことを考えていない。口先だけ良ければそれでいいみたいな教育をし ているから、自己主張だけ立派な大人が多い。今の大人には責任という言葉の意味を今一度考えるべ きだと思う。

まだ若い自分が年上に対してこういわないといけない自体が情けないことだし、恥ずべき事だ。もう少し発言には責任を持ってほしい。そして、義務と責任を持つような教育をしてほしい。

(20代 男性)

個性と能力を発揮する選択肢が少ない(30代 女性)

色々とありすぎて、一言には言えません。まとまりがつきません。(50代 女性)

もう少し生活に余裕があれば?

個性、能力等、若い時から努力しないとなかなか難しい。(50代 女性)

男女ともに、もっと働ける場所を増やして、いきいきとそこの地域で生活できるようにならないといけないと思います。(40代 男性)

最近、自分が一番大切!!という人が多く、他人(親、子どもなども含む)のことを思いやる気持ちが足りないように思います。心豊かに暮らせれば、気持ちに余裕ができ、何事に対してでも優しくなれるのでは?と思います。

相手を思いやる気持ち、これが今の時代一番欠けていると思います。(60代 女性)

私は軽度の身障者です。そのため某施設に通っています。軽度ですが、手が少し悪いため、一般の企業では働かしてもらえませんでした。

私自身は精一杯パソコンを使いながら頑張っています。でも、軽度のため年金も出ません。

職員といわれている人達とほぼ同じ仕事をし、責任を負いながらしても、経済面では職員の3分の1にもなりません。老後が心配です。(50代 女性)

「男女共同参画」という言葉をよく耳にするが、これをいわゆるアラブの格言に例えて雲とするならば、雨。すなわち実行の具体性が充分に伝わっているとは必ずしもない。

市場競争原理、労働保護規制の撤廃等、小泉改革のゆがんだ構造改革では不可能である。もっと東国原・橋本両知事のように、アピールが足りない。(60代 男性)

もう少し、生活に余裕があればいいのに…。(30才 女性)

家庭の中、人と人との中(コミュニケーション)が足りない。会話がない。

個人(1人)で生活(自立)できるよう(日本・世界の中で)学校で教えてほしかった。

成人になっても、生きること、自立するような考えで教育を(親から)受けていない。バブルのおかげか。(30代 男性)

60 代前半。まだまだ健康で働きたいと思っていますが、現状では職が無く、困っております。 (60 代 女性)

建設業、仕事がない。一家心中させる気か。もっと他のこと考えよ。(40代 男性)

景気を回復させて選択の機会を作ることが第一だと思います。(30代 男性)

今の自分の立場に非常に満足し、仕事及び地域活動と頑張ってやってほしいです。(60代 女性)

施設、窓口が町から離れ、高齢者、あるいは車のない者には遠い存在になりました。日頃、地域にあって色々、疑問、不安があり「ちょっと話してみたい、聞いてみたい」ということがあっても、すぐ、気楽に、ということにはなりません。

町のあちこち、地域に「ちょっと気軽に」立ち寄れる相談所、門戸の低く広い窓口があれば、うれしくおもいます。不信と懐疑の世の中になり、どんどん敷居も高く、ガードも固くなり、相談にも行きにくくなりました。不信は更に不信を招きます。

戦争を知らない若い者(男女合わせて)それに限らず、若い男女について、やたら高飛車な口調、態度で男性をこき下ろしたり、軽蔑し、あしらう態度の女性を悲しく思います。

アンケートではあまり反応しませんでしたが、やはり、「女性史」を学ぶことは大切だと思います。 (60代 女性) 小さい子どもさんがおられる家庭のことだけ給付金とかいっているが、実際、こんな田舎から都会の 大学に出すことがどれだけ大変か、議員さんなどに知ってもらいたい。家のローンも抱えて、ちょっ と離れた年寄り4人も抱えて、仕送りと、授業料の大変さを知ってほしい。今の生活でいっぱいで将 来の事は全く考えられない。

仕事も何でもしたが、就職先もない状態です。(40代 女性)

私自身、年齢的に若ければ、もっともっとやりたいこと、活動したいことがたくさんありますが、身体的に弱ってまいりました。今できること、好きな行動や趣味を、いかにして長続きし、仲間を減らさないよう楽しい日々を送れたら幸せと感じています。(70代 女性)

予防医学?自分で出来そうな健康対策に努めています。(70代 女性)

家事・育児に追われていると、リフレッシュってほんとに大事だと思います。すべてに影響します。 (家庭や仕事に)

お母さん同士のコミュニケーションの場はあっても、お父さんはそういう場は抵抗があるように思います。もっと人が自然に集まってくるような施設があればと思います。最近の公園は危険な遊具はロープが張ってあり、使えないままになっているし、砂場は草だらけで遊ぶ気がしないです。かといって、室内で遊べるような施設も知らないです。(そういう施設パンフレットがあればと思います。)家族みんなで楽しくリフレッシュしたいです。(30代 女性)

若い男女の方が自由過ぎて、動くことより走り回って金を使って悪質行為が多くあり、昔の教育のように、家庭教育が不足していると思われます。(80代 男性)

戦時・戦後の封建主義時代を過ごした我々が、退職当時(昭和の終わりの頃)家内(妻)は、主人が 退職したら主人から解放され、旅行も友達としたり、自由に過ごしたいものと声があったことを思い 出しました。

今回の男女共同参画意識調査の記載に当たり、大きく改善され、今日を改めて認識し、意識不足について反省した次第です。(80代 男性)

生活が豊かになれば、何事もうまくいくと思う。

よい制度が沢山出来、社会的にも文化的にも豊かになったのに、生活の豊かさがおきざりになっている。(50代 女性)

DVに関しては、子どもの頃の家庭環境、生活環境が大きく影響しているのではと思います。 (40 代 男性)

鳥取県など、田舎にいけばいくほど、案外地域の繋がりが薄い。陰口や嫌みが色んなところからばらまかれる。男女という前に、全体のコミュニケーション場は、現在減っているし、このままでは、男性、女性関係なく、地方は陰湿になるだけな気がする。男女の前に、地域が活性化する、イベント等の企画が要ると思う。(20代 男性)

現在の人は、食をはじめ、不自由が無い生活を送っているが、時間の自由が無いため、何かしようと思っても参加する時間が無い。あれば家庭生活に終わってしまう。もっと気持ちの上で、生活できる生き方をしたい。そのためには、行政がどのようにするか色々な調査をし、鳥取県で生活が出来て良かったと思える県にしてほしい。(60代 男性)

勝手な枠を作った目で見ないでほしい。

管理する側は、枠の中に居た方が管理しやすいので枠の中にはめたがる。生き生きと発揮できない職場だったので、はみだし者と見られがちだったこと残念に感じていた。(60代 女性)

適齢期を過ぎた独身男性がうようよしている。何とか施策を考えないと未来がない。男女の個性と能力を発揮するまでのこと。発揮できない…。(80代以上 男性)

私は身体障害者です。でも等級が低いので、何も優遇されません。ですからもっと働く場を提供してください。(30代 女性)

男尊女卑がなくならない限り、共同参画が成り立たない。

身近にもDVの人がいるが(助けたい)、逃げられないと一人耐えています。これからも増える一方でなくならないと思う。

この調査が無駄になりませんように。(30代 女性)

50年先、100年先の地球の環境・平和を考えた時、取り込んでいく方法は沢山あります。

- ①少子高齢化、子どもがいなくなったら、色々経済商売がなりたたない。女性がゆっくり子どもを育てられる環境、男性の給料だけで一家が生活してゆける。ゆとりある収入と支出のバランス。
- ②税金の無駄遣い。もっともっと検討する方法はあります。省や庁の役員、職員が多すぎます。例えば…。
- ③本当で国や国民の平和を考え、愛していれば、国のため、人のため、国会議員は真信、無料報酬で、国の骨となる働きをする姿がすばらしい。私だったら、家族のため、他のために地球のために、心よりご奉仕に命を捧げ働きます。そんな心の広い大人がたくさんいれば国会議員の先生方のゆがんだ考えが一つになると思います。
- 50年先100年先、今の地球を考える人、男女平等に発揮する場をどんどん取り入れて下さい。 (60代 女性)

今年で 57 才になります。意欲と能力のある後期高齢者が職場で活躍するために、社会的、行政支援等の制度がありながら充分に理解されず、法律上だけのもので、活用されていない様に思います。活用されるためにどうすればよいか対策を願う。(50代 男性)

相手の長所を真剣に聞き自分のものにする。

子ども(長男)に嫁がない。県も後押し事業しておられるけれども、情報サービスが薄いです。 (70代 男性)

働く職場がほしい。(50代 女性)